

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
280時間	12名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の課程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	22	(知及技) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。【ケー(ア)】 (学・人) 簡単なきまりやマナーに従って行動しようとする。	(知・技) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりやマナーに従って行動しようとしている。	きまり ①自分の物と他者の物の区別 ②学校のきまり	1 物を適切な方法で貸し借りする。 2 貴重品や書類に触れたり、それらを持ち出したりしない。 3 落とし物を拾ったときは、教師に届けたり、持ち主を探して手渡したりする。 4 学校等で、必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 5 集会や校外学習等の時は、集団行動に必要な決まりを守る。	
	5月	25	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べることができる。【サー(イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとしたりして取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとしたりして取り組もうとしている。	生命・自然 ①自然との触れ合い(年間を通して) ②季節の変化と生活 ここからわーく 基本的生活習慣 ・排泄の方法 ・きれいな体	1 草木や木の実、落ち葉等を集めたり、形や色などの特徴をつかんだり、植物の変化を捉えたりする。 2 天気予報や台風などの情報に関心をもつ。 3 正しい排泄方法 4 和式トイレ、洋式トイレの使い方 5 手洗いの手順	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」

6月	30	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。【イー（イ）】 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするよう心がけることができる。【イー（ア）】 (学・人) 安全について考えたり、日常生活に関連付けて表現したりする。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学) 安全に気をつけて活動しようとしている。	安全 ①危険防止 ②交通安全 (年間をとおして) 校外学習	1 危険な場所や状況を自分から回避したり、大人に知らせたりする。 2 交通信号の見方が分かり、信号に従う。 3 道路は右側を歩き、歩道のある場合は、歩道を歩く。 4 「通行止」「横断禁止」「危険」などの標識が分かり、指示を守る。 5 交通の頻繁な道路では遊ばない。 6 交通ルールを守り、安全に自転車に乗る。	
7月	18	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。【キー（イ）】 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進めようとすることができる。【キー（ア）】 (学・人) 日常生活の手伝いや仕事を進めようとする取り組み、生活を豊かにしようとする。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進めようとする取り組み、生活を豊かにしようとしている。 (主学) 日常生活の手伝いや仕事を進めようとする取り組み、生活を豊かにしようとしている。	手伝い・仕事 ①手伝い ②整理整頓 ③戸締り (年間を通して)	1 自分から調理や製作などの様々な手伝いをする。 2 仕事に使う道具や器具に慣れる。 3 道具や器具を大切に扱う。 4 調理や製作の手伝いをする。 5 他の教室などへ伝言に行く。 6 掃除用具、運動用具、図書等の整理整頓をする。 7 教室や特別教室の椅子や机の整頓をする。 8 窓の開閉、戸締まり等をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
9月	28	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。【イー（イ）】 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするよう心がけることができる。【イー（ア）】 (学・人) 安全について考えたり、日常生活に関連付けて表現したりする。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学) 安全に気をつけて活動しようとしている。	安全 ①避難訓練 ②防災 (年間を通して)	1 避難のときは、進んで教師の指示に従う。 2 火災時と地震時の避難の仕方が分かり、適切に行動する。 3 火災や地震等の災害に気付き、その場の状況をとらえて適切に行動しようとする。 4 地域の安全な場所が分かり、緊急時に移動する。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」

2 学 期	10月	30	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べることができる。【サー(イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとして取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 ①動物の飼育・植物の栽培 (年間を通して) 校外学習	1身近な昆虫や魚、小鳥等を観察したり、飼育したりする。 2 草花や野菜等を栽培し、観察する。 3 飼育や栽培では、タブレット端末等の情報機器を効果的に活用し、特徴や変化に関心をもって観察する。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	11月	30	(知及技) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。【ケー(ア)】 (学・人) 簡単なきまりやマナーに従って行動しようとする。	(知・技) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりやマナーに従って行動しようとしている。	きまり ①日常生活のきまり ②マナー 校外学習	1 公園や図書館等の決まりを守る。 2 火災報知器や消化器等の非常用設備の使用法について、およそを理解する。 3 公共交通機関や病院、図書館等で静かに行動したり過ごしたりするなど、公共の場におけるマナーを身に付ける。	
	12月	22	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。【オー(イ)】 (思判表力) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な対応などをしようとしてすることができる。【オー(ア)】 (学・人) 自主的に挨拶や関わりを持つようとして取り組もうとする。	(知・技) 身近な人との簡単な対応の仕方を理解している。 (思・判・表) 自分との関わりが分かり、簡単な対応などをしようとしている。 (主学) 自主的に挨拶や関わりを持つようとして取り組もうとしている。	人との関わり ①自分自身と家族 ②身近な人との関わり (年間を通して) ここからわーく 基本的生活習慣 ①排泄の方法 ②きれいな体	1簡単な自己紹介をする。 2自分の住所を言う。 3自分の家の電話番号を言う。 4 身近な人に簡単な日常のあいさつをする。 5 見たこと、聞いたこと、遊んだことを教師や友達と話し合う。 6 学用品などを忘れて困っている友達に、自分の物を貸す。 7 友達のあやまちをむやみにとがめない。 8 友達との約束を守る。 9 年賀状や礼状等の手紙を出す。 10 正しい排泄方法 11 入浴の方法(体の洗い方)	国「電話の相手と話をしよう」

3 学 期	1 月	25	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べることができる。【サー(イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとして取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 ①季節の変化と生活(年間を通して)	1 太陽の出没の方角や月の満ち欠け等を観察する。 2 四季の変化に関心をもつ。 3 天気予報に関心をもつ。 4 季節と行事の関係に関心をもつ。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	2 月	30	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。【キー(イ)】 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしてすることができる。【キー(ア)】 (学・人) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとして取り組んだり、生活を豊かにしようとしてしたりする。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとして取り組んでいる。 (主学) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとして取り組んだり、生活を豊かにしようとしている。	手伝い・仕事 ①そうじ ②後片付け (年間を通して) 校外学習	1 場所に適した掃除用具等を選択し、決められた場所の掃除をする。 2 自分から決められた場所に道具等を片付ける。 3 手伝いや仕事の終了時に報告をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
	3 月	20	(知及技) 身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けることができる。【オー(イ)】 (思判表力) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとしてすることができる。【オー(ア)】 (学・人) 多くの人たちとの関わりの中で、人との応対の仕方を学習し、主体的に適切な関わりをもとうとする。	(知・技) 身近な人との簡単な応対の仕方を理解している。 (思・判・表) 自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとしている。 (主学) 多くの人たちとの関わりの中で、人との応対の仕方を学習し、主体的に適切な関わりをしようとしている。	人との関わり ①電話や来客の取次ぎ ②気持ちを伝える応対 (年間を通して)	1 電話や来訪があったときは適切に取り次ぎをする。 2 「ありがとう」「ごめんなさい」を適切に言う。	国「電話の相手と話をしよう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・ポートフォリオ ・行動観察 ・その他教科に応じた評価方法					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
175時間	12名		こくご☆☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小知的3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。(小知的3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。(小知的3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	15	(知及び技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階アー(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫することができる。(3段階Aーエ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	役割をもって伝えよう ・かんげいかい	・歓迎会をすすめるにあたって必要な事柄を話し合う。 ・役割に応じて話す順番などを検討し、相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「10といくつ」 音楽 「盛り上がりを感じて歌おう」 特別の教科 道徳 「挨拶の相手」 特別活動 「学年・学級開き」
	5月	17	(知及び技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階Cーイ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	説明文を読もう ・のりもの ・花	・ものの状態や様子等を短く説明した文章を読む。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方や簡単な漢字の読み方などを確認し、本文の文字を追って読む。 ☆年間を通して指導する。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「足し算」 特別の教科 道徳 「周囲への感謝」 特別活動 「児童集会のビデオを作ろう」
	6月	20	(知及び技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) (思判表力) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付くことができる。(3段階ウー(ア)) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付こうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	・リズムに親しもう わらべうた ・長音、促音を読んでみよう ひらがなをよもう	・リズムや言葉の響きを楽しむながらわらべ歌遊びをする。 ・挿し絵を平仮名をカードにしている取りをするなどして平仮名に親しむことができるようにする。 ・日常生活でよく使う長音、促音などが含まれた語句を繰り返し読む。 ☆年間を通して指導する。	生活 「地域について調べよう」 特別の教科 道徳 「分け隔てなく」 特別活動 「お楽しみ会を計画しよう」

2 学 期	7月	10	〔知及技〕日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (3段階アー(ウ)) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようすることができる。 (3段階Cーウ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。 (3段階)	〔知・技〕日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとする。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・標識を読んでみよう かんばんをよもう	・学校の中にある生活に必要なきまりを探し、文字、記号、絵から生活環境に合わせ、どのような行動が求められているか考える。 ・きまりに沿って実際に行動してみる。	生活 「地域について調べよう」 算数 「くらべてみよう」 体育 「エイズについて」 特別の教科 道徳 「国やふるさとのよさ」 特別活動 「お楽しみ会を計画しよう」
	9月	18	〔知及技〕言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。(3段階アー(エ)) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(3段階アー(ウ)) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名の正しい読み方がわかる。 (3段階ウー(ウ)㊦) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いに気付くことができる。(3段階Bーエ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。 (3段階)	〔知・技〕言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこうとしている。 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いに気付こうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	書いてみよう ・ひらがなをかこう	・五十音一覧表から読みと対応する平仮名を探したり、平仮名カードを並べたりして単語を構成する。 ・書くときの姿勢、筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書く。 ☆年間を通して指導する。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「位置を表す言葉」 音楽 「季節の歌を歌おう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「よさを伸ばす」
	10月	20	〔知及技〕身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。(3段階アー(ア)) 姿勢や口形に気を付けて話することができる。(3段階アー(イ)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(3段階Aーイ) 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。(3段階Aーカ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	〔知・技〕身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	話し合いをしよう ・たのしかったえんそく	・体験したことを振り返り、思い浮かべたことを言葉や身振り等で表現したり発表したりする。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「位置を表す言葉」 音楽 「季節の歌を歌おう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「よさを伸ばす」
	11月	20	〔知及技〕日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、片仮名の正しい読み方がわかる。(3段階アー(エ)) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (3段階Cーウ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	〔知及技〕教師の支援を受けながら日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・家の中でカタカナを探してみよう かたかなをよもう、 かたかなをさがそう	・片仮名で書く語の種類を知り、身の回りにある片仮名で表記されるものを思い出し、発表する	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「形をつくろう」 図画工作 「描いてみよう」

	12月	15	（知・技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 （3段階アー（ウ）） （思判表力）日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 （3段階Cーウ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。（3段階）	（知・技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 （思・判・表）日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	お店の人に聞いてみよう ・かいもの 「展示祭」に向けて	・買い物をする場面を想起し、挿し絵などを見ながらロールプレイングして、相手に伝わりやすい話し方やメモを活用した受け答えをする。	生活 「お金の使い方を考えよう」 算数 「かいものをしましよう」 特別の教科 道徳 「物を大切に」 特別活動 「2学期頑張った会」
	1月	10	（知・技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることがわかる。（3段階アー（ウ）） いろいろな語句や文の表現に触れながら出来事や経験したことを伝え合うことができる。（3段階ウー（イ）） （思・判・表）見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとすることができる。（3段階Bーウ） 書いた語句や文を読み、間違いに気づき、正しい表現をすることができる。（3段階Bーエ） （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。（3段階）	（知・技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることに気付く。 いろいろな語句や文の表現に触れながら出来事や経験したことを伝え合おうとしている。 （思・判・表）見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとする。 書いた語句や文を読み、間違いに気づく。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	文をかこう ・3語文を作ってみよう 「展示祭」に向けて	・身近な事柄を表す絵や写真も見ながら、文節ごとに区切ったカードを並べかえたり完成した文を見本に書いたりする。 ・2語、3語で構成する文を題材に主語や助詞を使いながら正しい姿勢で書くことに慣れる。 ☆年間を通して指導する。	生活 「地域について調べよう」 算数 「くらべてみよう」 体育 「エイズについて」 特別の教科 道徳 「国やふるさとのよさ」 特別活動 「お楽しみ会を計画しよう」
3学期	2月	20	（知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムがわかる。（3段階ウー（ア）） （思判表力）絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。（3段階Aーア） 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。（3段階Cーア） 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。（3段階Cーイ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。（3段階）	（知・技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付く。 （思・判・表）絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像している。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・昔話 おじいさんとねずみのはなし	・教師の読み聞かせを聞いたり挿し絵を見たりしながら、昔話のフレーズを真似したり、音読を発表したりする。	算数 「しらべよう」 特別の教科 道徳 「よいことをすすんで」 特別活動 「学年紹介」
	3月	10	（知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。（3段階イー（ア）） （思判表力）登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。（3段階Cーエ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。（3段階）	（知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとする。 （思判表力）登場人物になったつもりで、音読したり演じようとする。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする態度を養おうとしている。	げきをしよう ・ペブサートをつくろう	・自分に必要な道具をそろえて、お話をイメージしながらペブサートを作成し、登場人物になったつもりで相手に伝わるように演じる。	生活 「地域について調べよう」 算数 「絵や表にして計算しよう」 音楽 「ドレミファソの音で遊ぼう」 図画工作 「作ってみよう」 外国語活動 「きみはだれ？」 特別の教科 道徳 「自然に親しむ」
留意点 引き継ぎ等							

評価方法	・三観点の確認　・授業に対する取組姿勢　・課題の処理意欲、態度　・理解度、習得度 ・ポートフォリオ　・行動観察　・その他教科に応じた評価方法
------	---

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
140時間	12名		さんすう☆☆☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的1～3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点他教科との関連
1学期	4月	9	(知及技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大きさを比べたりすることができる。(Aア(ア)ア) ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(Aア(ア)エ) (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。(Aア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。	(知・技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大きさを比べたりしている。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P5 ・10より大きいかず(スーパーマーケット) ☆☆☆本P6 ・10より大きいかず(10といくつ①) ☆☆☆本P7 ・10より大きいかず(10といくつ②) ☆☆☆本P8 ・10より大きいかず(かずをかきましょう) ☆☆☆本P10 ・20までのかずの大小(どちらが おおいでしょう) ☆☆☆本P12 ・20までのかずの大小(かずの大きいほうに○をつけましょう) ☆☆☆本P13 ・20までのかずの大小(かずのおおいほうに○をつけましょう) ☆☆☆本P14 ・20までのかずの大小(どちらのかずが大きいでしょう)	・具体物を使って、11から20までの数を数える。 ・①では12個のみかんを10のまとまりが1つと残りが2個に分け、「10こと2こ」と言う。10をひとまとまりと捉える学習を行う。 ・②では立方体の積み木を使い「じゅう」と「に」で「じゅうに」と言えるようにする。なぞり書きをする。 ・ばらばらになった具体物の数を読み、書く。 ・どちらが多いかを直接比べるために、半具体物を並べて比べる。「10といくつ」の「いくつ」の部分を表す数字を比べて、大小の判断ができるようにする。 ・ドットが書かれた2枚の数のカードの多い少ないを比較する。 ・具体物の数を数え、数の多い方を選ぶ。 ・数字同士で数の大小を比較する。	
	5月	14	(知及技) 100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすることができる。(Aア(ア)イ) ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(Aア(ア)エ) (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。(Aア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。	(知・技) 100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりしている。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P16 ・おおきなかずのかきかた① ☆☆☆本P17 ・おおきなかずのかきかた② ☆☆☆本P18 ・じゅんばんにならべましょう(10よりちいさいかず、大きいかず) ☆☆☆本P19 ・じゅんばんにならべましょう(どんなかずがはいるでしょう) ☆☆☆本P20 ・じゅんばんにならべましょう(うらがえしたカードはいくつでしょう)	・①では、10のまとまりにすることで、数えやすくなること、品物によって「個」「本」「枚」等のように呼称が変わることを学習する。「ろくじゅうよん」の読み方や書き方を学習する。 ・②では、位取り板を使用し、十進法位取り記数法について学習する。「十のへや」に入ると、まとまりとして1になるのだということを学習する。 ・10より小さい数と大きい数に分類してから順序正しく並べる。20を中心とした数の系列や数唱も扱う。 ・カレンダーの抜けている数字について考える。揃えてから1から30までの数唱をする。 ・100までのカードを教科書のようにならべ返して並べる。裏返ったカードが何か考え、揃ったら順唱、逆唱する。	

6月	17	〔知及技〕 ・数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えることができる。（Ａア（ア）ウ） ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。（Ａア（ア）エ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（Ａア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。	〔知・技〕数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えている ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P22 ・まとめてかぞえましょう（2ずつかぞえましょう） ☆☆☆本P25 ・まとめてかぞえましょう（5ずつかぞえましょう） ☆☆☆本P26 ・10のまとまり（いろいろな10） ☆☆☆本P28 ・10のまとまり（10ずつかぞえましょう）	・2飛びの数唱をしたり、数える対象を2ずつのまとまりで数える。2こずつのまとまりで数えると手際よく数えられることを学習する。 ・5飛びの数唱をしたり、数える対象を5ずつのまとまりで数える。5こずつのまとまりで数えると手際よく数えられることを学習する。5のまとまりにならない物も用意し、5飛びでは数えられないことがあることにも気付かせるようにする。 ・10を一つのまとまりとして意識し10のまとまりの物を数える。 ・10ずつ数えていくことや数え方に慣れる。	
7月	9	〔知及技〕具体物を分配したり等分したりすることができる。（Ａア（ア）オ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（Ａア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。	〔知・技〕具体物を分配したり等分したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P29 ・おなじかずにわけましょう（ふたりでわけましょう） ☆☆☆本P30 ・おなじかずにわけましょう（おなじかずにぜんぶわけましょう①） ☆☆☆本P31 ・おなじかずにわけましょう（おなじかずにぜんぶわけましょう②）	・二人に一つずつ花が無くなるまで分ける。いくつずつ分けられたか数を数え、結果的に2等分したことがわかるようにする。 ・4人に8個のクッキーを一つずつ分ける。結果的に4等分したことがわかるようにする。 ・母親を含む4人で1枚のピザを分ける。どのように切り分けたら良いかを考え、分けられるようにする。	
9月	15	〔知及技〕ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（Ｂア（ア）ア㉞） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（ア）ア㉟） ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。（Ｂア（ア）ア㊱） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（イ）㉞） ・身の回りにあるものの形を図形として捉えることができる。（Ｂア（イ）㉟） ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（Ｂア（イ）㊱） （学・人）物の前後を理解することで、日常的に着替え等に取り組むことができる。	〔知・技〕ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したり工夫している。 ・身の回りにあるものの形を図形として考えている。 ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考えている。 （主学）物の前後を理解することで、日常的に着替え等に取り組んでいる。	○形をつくろう ☆☆☆本P50 ・かたちあそび ☆☆☆本P51 ・いろいろなかたち（しかくをつくってみましょう）① ☆☆☆本P53 ・いろいろなかたち（さんかくをつくってみましょう） ○位置を表す言葉 ☆☆☆本P56～57 ・まえとうしろ①	・積み木などの立体物を使用して、高さを競うゲームを行う。 ・教科書を参考に、身近なお菓子の箱などを使用し、面の形を写し取りながら、絵を描く。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒4本で四角作りを行う。 ・四角を分解したり組み立てたりすることで、四角が4辺で構成されていることを体験を持って感じられるようにする。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒3本で三角作りを行う。 ・様々な長さの棒を用意し、いろいろな形の三角を作る。 ・児童の普段着ている衣服などを使用し、衣服の着脱のロールプレイなどを行う。	

2 学 期	10月	16	〔知及技〕ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（Ｂア（ア）ア㊦） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（ア）ア㊦） ・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。（Ｂア（ア）ア） ・傾斜をつくると角ができることを理解すること。（Ｂイ（ア）ア㊦） 〔思判表力〕身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（イ）㊦） ・身の回りにあるもの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（Ｂア（イ）㊦） ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。（Ｂイ（イ）㊦） 〔学・人〕傾斜と角の關係に心をもち、いろいろな坂道を作ることができる。	〔知・技〕ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 ・傾斜をつくると角ができることを理解している。 〔思・判・表〕身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・身の回りにあるもの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりしている。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 〔主学〕傾斜と角の關係に心をもち、いろいろな坂道を作ろうと取り組んでいる。	○位置を表す言葉 ☆☆☆本P60～61 ・上と下 ☆☆☆本P64 ・右、左 ☆☆☆本P65 ・かどをさがしましょう ○坂道をつくろう ☆☆☆本P66 ・いろいろな大きさのかく①	・教室にあるロッカーや机などを基準にして、上下に何があるかのクイズを行う。 ・命令ゲームなどで「○○の上にあるものを持ってきてください」などと言って位置關係の理解を促す。 ・右手左手の認識を促すため、「箸を持つ方が右」など確認を行う。 ・「右手上げて」「左手上げて」などのゲームを行う。 ・右にいる人は誰、右に曲がるなどの日常に関連した事柄を取り入れて体験的に学習を行う。 ・教科書の挿絵を参考に、角の見本を持ちながら、教室内や校内探索をして角探しを行う。 ・扇子のような物から、1本の辺を開くと角ができる体験をする。 ・ロケット遊びで、どの傾きが一番飛ぶかを考えて、角度を調整することで、角度に大きい小さいがあることを経験する。	
	11月	15	〔知及技〕長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。（Ｃ測定ア（ア）ア） 〔思判表力〕身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。（Ｃア（イ）ア） 〔学・人〕身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとするができる。	〔知・技〕長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 〔思・判・表〕身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 〔主学〕身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆P68 ・ながい、みじかい① ☆☆☆P69 ・ながい、みじかい② ☆☆☆P70 ・ながさをくらべてみましょう（ならべてみましょう） ☆☆☆P71 ・ながさをくらべてみましょう（一ばんながいのほどでしよう）	・長さの異なる二本の花を直接比べたり、花瓶に生けた花を観察し長さを比べる。 ・鉛筆、テープやクレヨンの長さを比べる。 ・とび縄、輪ゴムや靴などの長さを比べる。 ・作った輪かざりを持っている手の高さをそろえたり、たるみがある場合は伸ばして比べる。 ・複数の電車の挿絵から「いちばん長い」「いちばん短い」電車を考える。	
	12月	11	〔知及技〕長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。（Ｃ測定ア（ア）ア） ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。（Ｃア（ア）イ） 〔思判表力〕身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。（Ｃア（イ）ア） 〔学・人〕身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとするができる。	〔知・技〕長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 〔思・判・表〕身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 〔主学〕身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆P72～73 ・ながさをくらべてみましょう（うつしとってくらべましょう） ☆☆☆P74 ・ながさをくらべてみましょう（ながさをはかってみましょう） ☆☆☆P75 ・ながさをくらべてみましょう（ながさをいくつぶんでしょう）	・テーブルの縦の長さと横の長さをテープに写し取り長さを比べたり、写し取ったテープをホワイトボードに貼り比べたりする。 ・長さが同じ鉛筆やペン等を基準とする媒介物にして、教科書の縦の長さと横の長さを比べる。 ・基準とする媒介物として使用した鉛筆を用いて、テーブルの縦横の長さがそれぞれ何本になっているか調べる。 ・6種の野菜の長さを数値化し、目盛りの幅と等しい長さのシールを目盛りの数だけ貼ったり、一目盛りごとに色を塗ったりして長さを比べる。 ・方眼紙の上に文房具を置き長さ比べをする。	

3 学 期	1 月	12	（知及技）日常生活の中で時刻を読むことができる。（C測定イ（ア）ア） ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。（Cイ（ア）イ） （思判表力）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。（Cイ（イ）ア） （学・人）時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとするができる。	（知・技）日常生活の中で時刻を読もうとしている。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解している。 （思・判・表）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現している。 （主学）時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	時計の読み方 ☆☆☆P80 ・とけい（学校のせいかつ） ☆☆☆P81 ・とけい（ながいはり、みじかいはり） ☆☆☆P82～83 ・とけい（ながいはり） ☆☆☆P84 ・とけい（みじかいはり）	・学校生活と時刻を結びつける。 ・模型の時計の針を操作する。 ・アナログ時計やデジタル時計の時刻（〇時）を読む。 ・長針の動きを知り10分刻みの時刻を読む。 ・短針の動きを知り〇時を読み取る。 ・短針が入る扇形の領域部分に色を付ける。	
	2 月	14	（知及技）ものどものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。（Dア（ア）ア） ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。（Dア（ア）イ） （思判表力）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとするができる。	（知・技）ものどものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取っている。 （思・判・表）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 （主学）数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P94～95 ・ひょうをつくりましょ① ☆☆☆本P96～97 ・ひょうをつくりましょ②	・自由にボーリングゲームを行うなかで、倒したピンの本数を数えることで得点になることを確認する。 ・得点を絵カードなどで表示する。 ・絵カードなどによる得点の記録を●という記号に置き換える。 ・ボールを転がす回数や順番などの簡単なルールを決めてボーリングゲームを行う。 ・ゲームの得点を●などの記号に置き換え、得点の一覧表を作る。 ・得点の一覧表を使って得点の結果を比較し、「～より多い」「～より少ない」「～と同じ」などと表現する。 ・毎日の天気を観察し、結果を記録表に晴れ、くもり、雨などの絵カード取り付けて記録する。 ・晴れ、くもり、雨など、それぞれの日数を月ごとにまとめ、その結果を●印などで記録して表を作成する。	体育「ボールを使った運動やゲーム」
	3 月	8					
留意点 引き継ぎ等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	12名		

			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(3段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・ 題材名	単元・題材の 活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	6	(知及び技) 転がし絵の技法で模様をつくる制作活動を通して、形や色などの感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 様々な材料を使い、転がし絵の技法で工夫して模様をつくることができる。(3段階Aア(1)) (思判表力) 材料などの感じを基に自分のイメージをもち、模様に表すことができる。(3段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんで転がし絵の技法を使った活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 転がし絵での制作活動を通して、形や色などの感じに気付いている。 転がし絵の技法で工夫して模様をつくらしている。 (思・判・表) 転がし絵の技法を使って表現している。 (主学) 転がし絵の技法を使って模様をつくる活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～模様を描こう～ 転がし絵	・使いたい色の絵の具や紙類を選んだり、絵の具で混色を作ったりする。 球体や円柱形等、色々な形の物に絵の具を付けて転がし、どのような模様がでるかを試す。 作品を紹介し合う。	
	5月	6	(知及び技) 動くオモチャを作る制作活動を通して、形や色、模様などの感じやオモチャが動く仕組みに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 様々な身近な材料を使い、工夫して動くオモチャを作ることができる。(3段階Aア(1)) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことからイメージをもち、形に表すことができる。(3段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 動くオモチャの簡単な仕組みに興味をもち、つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組んだり、制作物で遊んだりする。(3段階)	(知・技) 動くオモチャを作る制作活動を通して、形や色、模様などの感じやオモチャが動く仕組みに気付いている。 様々な身近な材料を使い、工夫して動くオモチャを作っている。 (思・判・表) 様々な身近な材料を使って、形に表している。 (主学) 動くオモチャの簡単な仕組みに興味をもち、楽しく制作活動に取り組もうとしている。教師の支援を受けながら制作物で楽しく遊ぼうとしている。	・作ってみよう ～動くオモチャ(跳ねる、飛ぶ)～ カエル、ロケット 等	・動くオモチャの簡単な仕組みを知る。 牛乳パックや紙皿、輪ゴム等の身近な材料を使い、簡単な動くオモチャを作る。 出来上がったオモチャを紹介し合ったり、動かして遊んだりする。	生「ものの仕組みと働き①」 国「説明文を読もう」
I学期	6月	8	(知及び技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、触った感じや色々な形に変化すること等に気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 教師の支援を受けながら、液体粘土を作ったり、液体粘土や布等を使って工夫して形を作ったりすることができる。(3段階Aア(1)) (思判表力) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、液体粘土を使って思い思いに形を作ることができる。(3段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、液体粘土を使った造形活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、触った感じや色々な形に変化すること等に気付いている。 液体粘土を作ったり、液体粘土や布等を使って工夫して形を作ったりしている。 (思・判・表) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、液体粘土を使って思い思いに形を作っている。 (主学) 液体粘土を使った造形活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～液体粘土を使って～ お城、家など	・液体粘土を作る。 液体粘土を使って布などの柔らかい素材を固め、思い思いの形を作る。 自分が住みたいお城や家などを表現する。 作品を紹介し合う。	算「形をつくらう」「くらべてみよう」

	7月	6	(知及技) パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形が変わっていく様子や、色や模様の感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを工夫して作ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、形に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。(3段階)	(知・技) パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形が変わっていく様子、色や模様の感じに気付いている。 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを工夫して作ったりしている。 (思・判・表) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、形に表している。 (主学) 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを作ったりする活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～牛乳パックを使って～ 和紙作り(はがき)	・牛乳パックからパルプを作ることを楽しむ。 パルプに絵の具や色々な素材を混ぜる。 パルプを漉き、色々な色や模様のはがきを作る。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然①」 国「説明文を読もう」
	9月	6	(知及技) 感想画を描く活動を通して、形や色などの感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 様々な画材から使いたい画材を選び、工夫して感想画を描くことができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 絵本等の挿絵や物語の内容を基に自分のイメージをもち、絵に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 好きな絵本等を絵に表す喜びを味わい、感想画を描く活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 感想画を描く活動を通して、形や色などの感じに気付いている。 様々な画材から使いたい画材を選び、工夫して感想画を描いている。 (思・判・表) 絵本等の挿絵や話の内容を基に自分のイメージをもち、絵に表している。 (主学) 感想画を描く活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～本を読んだり見たりして感じたこと、想像したことを描いてみよう～ 感想画	・物語を聞いたり読んだりして感想画に表したい本や描きたい場面を選ぶ。 物語を聞いたり読んだり、挿絵を見たりして思い浮かべたことや感じたことから表したいことを見つけ、使いたい画材を選んで絵に表す。 作品を紹介し合う。	国「図書室に行ってみよう」「昔話」
	10月	6	(知及技) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などの感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 色々な材質の紙を使い、ちぎり絵の技法で工夫して模様や絵をつくることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことなどからイメージをもち、ちぎり絵の技法で模様や絵に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。(3段階)	(知・技) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などの感じに気付いている。 色々な材質の紙を使い、ちぎり絵の技法で工夫して模様や絵をつくっている。 (思・判・表) ちぎり絵の技法で模様や絵に表している。 (主学) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～ちぎり絵～ 花火、海など	・紙を色々な方法で破くことを試し、破いてできる形の面白さを感じ取る。 破いた紙の形や色、質感に着目しながら、色々な組み合わせを試して模様や絵に表す。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然②」 算「形をつくろう」

2 学 期	11月	8	(知及技) スチレンボードに模様を描いたり刷ったりする活動を通して、色々な模様や色の感じ、スチレンボードと刷り取り紙の関係などに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 色々な用具を使い工夫して模様を描いたり刷ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、スチレンボードに模様を描いたり、刷ったりすることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) スチレンボードに模様を描いたり刷ったりする版表現の楽しさを味わいながら、スチレン版画を作る活動に取り組む。(3段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。(3段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。(3段階) (知及技) 表したいことに応じて材料や用具を選んだり、今までの経験や学習した技法を生かして工夫して作品を作ったりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Aア(イ)) (思判表力) 今までの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで教師と一緒に作品に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 一年間を振り返りながら作品作りに取り組んだり、できあがった作品を紹介し合ったりする。(3段階)	(知・技) スチレン版画を作る活動を通して、色々な模様や色の感じ、スチレンボードと刷り取り紙の関係などに気付いている。 模様の描き方や刷り方を知り、工夫してスチレン版画を作っている。 (思・判・表) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、スチレンボードに模様を描いたり、刷ったりしている。 (主学) スチレン版画を作る活動に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。 (主学) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。 (知・技) 表したいことに応じて材料や用具を選んでいる。今までの経験や学習した技法を生かして工夫して作品を作っている。 (思・判・表) 今までの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで作品に表している。 (主学) 作品作りに楽しく取り組もうとしている。作品を紹介しようとしたり、友達作品を見ようとしたりしている。	・描いてみよう スチレン版画 ・見てみよう(鑑賞)	・スチレンボードにヘラやペットボトルのキャップ等、色々な物を使って模様を描く。 スチレン版画を刷る。 作品を紹介し合う。 ・2学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「生命・自然③」 道「自然に親しむ」「自然とふれ合う」
	12月	6	(知及技) 窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などの感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンを組み合わせて工夫して模様を作ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 形や色などを基に自分のイメージをもち、模様に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。(3段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。(3段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。(3段階)	(知・技) 窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などの感じに気付いている。 ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンを組み合わせて工夫して模様を作ったりしている。 (思・判・表) カラーセロハンを使って窓に模様を表現している。 (主学) 窓アートの活動に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。 (主学) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう 窓アート ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ 身近な美術作品	・ハサミの安全で適切な使い方を確かめながら、セロハンを切ることを楽しむ。 カラーセロハンの切り方を工夫して、色々な形をつくる。 カラーセロハンを使って、窓ガラスに色々な模様を表現する。 作品を鑑賞する。 ・1学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	道「友達の気持ちになつて」「よさを伸ばす」
	1月	6	(知及技) 色々な種類の粘土から様々な形を作り出す感覚や立ち上がった形を作ったりする活動を通して、粘土の感触や形の感じ、形が変化する様子などに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 粘土の扱いに慣れ、工夫して色々な形を作ったり立ち上がった形を作ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージをもち、立ち上がった形を作ることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 粘土の感触を味わい、色々な形を作り出す喜びを楽しみながら、立ち上がった形を作る活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 色々な種類の粘土から様々な形を作り出す感覚や立ち上がった形を作ったりする活動を通して、粘土の感触や形の感じ、形が変化する様子などに気付いている。 粘土の扱いに慣れ、工夫して色々な形を作ったり立ち上がった形を作ったりしている。 (思・判・表) 粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージをもち、立ち上がった形を作っている。 (主学) 粘土で色々な形を作り出したり立ち上がった形を作ったりする活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～立ち上がった形(粘土)～ タワー、太陽の塔、壺など	・色々な種類の粘土に触れ、どのような形ができてそうか思い付いたことを試す。 ・握ったり、ひねったり、つまみ出したり等、色々な造形の方法を知る。 粘土やその他の材料から表したいことを考え、思い付いたことを形に表す。 作品を紹介し合う。	生「ものの仕組みと働き②」 算「くらべてみよう」「形をつくろう」

3 学 期	2月	6	(知及技) ビー玉迷路を作る活動を通して、釘の並びや盤の傾け具合等でビー玉の動き方に違いがあることに気付くことができる。(3段階共通事項ア(ア)) 釘や金槌の安全な使い方を知り、板に釘を打ち付け工夫してビー玉迷路を作ることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) ビー玉が転がる様子から自分のイメージをもち、板に釘を打ち付け、思い付いた迷路を作ることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、ビー玉迷路作りに取り組んだり、友達と作品で遊んだりする。(3段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色、表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(3段階共通事項ア(ア)、Bア(ア)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。(3段階Bア(ア)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て気付いたことや感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。(3段階)	(知・技) ビー玉迷路を作る活動を通して、釘の並びや盤の傾け具合等でビー玉の動き方に違いがあることに気付いている。 釘や金槌の安全な使い方を知り、板に釘を打ち付けている。本数や並べ方等、釘のうち付け方を工夫してビー玉迷路を作っている。 (思・判・表) ビー玉が転がる様子から自分のイメージをもち、板に釘を打ち付け、思い付いた迷路を形に表している。 (主学) ビー玉迷路作り楽しく取り組みもうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が気付いたことや感じたことを表現している。 (主学) 作品の鑑賞や作品を見て気付いたことや感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～釘と金槌を使って～ ビー玉迷路 ・見てみよう(鑑賞)	・釘や金槌の安全な使い方を知る。 板に釘を打ち付け、ビー玉迷路を作る。 作品を紹介し合う。 自分や友達の作品で遊ぶ。 3学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「ものの仕組みと働き②」「安全①」
	3月	6	(知及技) 表したいことに応じて材料や用具を選んだり、これまでの経験や学習した技法を生かして教師の工夫して作品集を作ったりすることができる。(3段階共通事項ア(ア)、Aア(イ)) (思判表力) 一年間で作成した作品やこれまでの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで作品集に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 一年間を振り返りながら作品集作りに取り組んだり、できあがった作品集を紹介し合ったりする。(3段階)	(知・技) 表したいことに応じて材料や用具を選んでいる。今までの経験や学習した技法を生かして工夫して作品集を作っている。 (思・判・表) 一年間で作成した作品やこれまでの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで作品集に表している。 (主学) 作品集作り楽しく取り組みもうとしている。作品集を紹介しようとしたり、友達の作品集を見ようとしたりしている。	・作ってみよう ～作品集作り～	・作品を見ながら一年間の活動を振り返る。 表したいことに応じて材料や用具を選び、今までの経験や学習した技法を生かして作品集を作る。 作品集を紹介し合う。	特「1年間を振り返ろう」
留意点 引き継ぎ等		修学旅行・運動会等の行事や児童の実態によって他の題材を扱うことができる。					
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	12名		おんがく☆☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。(小知的3段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。(小知的3段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。(小知的3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) ①曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。(3段階Bア) ②示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能を身に付けることができる。(3段階Aエ) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを表現することができる。(3段階Aア) (学・人) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとする。(3段階)	(知・技) ①曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 ②示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能を身に付けている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを表現している。 (主学) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○季節の歌を歌おう(歌) ・はるのかぜ ・はるがきた ○いろいろなリズム(器・音) ・ミッキーマウスマーチ ○音楽に合わせて踊ろう(身・鑑) ・おどろうたのしいポーレチケ	・示範の表現を見て、自分が意識した拍やリズム、旋律を教師の支援を受けながら考えて表現する。 ・歌詞に合った身体表現を教師の支援を受けながら考え、身体表現しながら歌う。	国「役割をもって伝えよう」 体「体づくり運動」 「表現運動」 特「学年・学級開き」
	5月	6	(知及技) 音遊びを通して、教師の支援を受けながら音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりする。(3段階Aウ) (思判表力) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付く。(3段階Bア) (学・人) 自分の好きな部分を口ずさんだり、教師の支援を受けながら考えて踊ったり、表現している。(3段階)	(知・技) 音遊びを通して、教師の支援を受けながら音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりできている。 (思・判・表) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付いている。 (主学) 自分の好きな部分を口ずさんだり、教師の支援を受けながら考えて踊ったり、表現している。	○盛り上がりを感じて歌おう(歌) ・せんろはつづくよどこまでも ○いろいろなリズム(器・身) ・たのしいね ○音楽に合わせて踊ろう(身) ・だるまさんのおどった	・リズムや速度の面白さに気付き、自分の好きな部分を口ずさんだり、考えて踊ったりする。 ・教師の伴奏に合わせて歌ったり、手拍子で合いの手を入れたりする。 ・世界の国のダンスを知り、考えて歌ったり踊ったりする。	体「表現運動」 道「世界の国々」 特「学年紹介」

6月	8	(知及技) 簡単な絵譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付ける。(3段階Aイ) (思判表力) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付く。(3段階Bア) (学・人) 音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとする。(3段階)	(知・技) 簡単な絵譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付いている。 (主学) 音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○身振りをつけてみんなて歌おう(歌・身) ・さんぽ ・テルテルボーイズ ○わらべうた(歌・身) ・かくれんぼ ○ドレミの音で遊ぼう(器) ・かえるのがっしょう ○リズムをつくろう(音) ・雨の音がくをつくろう	・階名唱をしたり、考えてキーボードや鍵盤ハーモニカなどの旋律楽器を演奏したりする。 ・雨の音をイメージした楽器やリズムで表現する。	生「生命・自然」 国「リズムに親しもう」 体「表現運動」 道「自然とふれ合う」
7月	6	(知及技) 範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりする。(3段階Aア、Aイ) (思判表力) 声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫する。(3段階Bア、Aア) (学・人) 打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて、歌ったり演奏したりできている。 (思・判・表) 声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫している。 (主学) 打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。	○みんなであうたおう(歌) ・やおやのおみせ(歌) ○楽器を演奏しよう！(器) ・きらきらぼし ○いろいろな音楽をきこう(鑑) ・シンコペイテッドクロック	・考えて教師や友達と交互唱をする。 ・階名唱をしたり、考えて鍵盤楽器を演奏したりする。 ・ウッドブロックとトライアングルの音を聴き比べ、楽器の音色やリズムを感じながら聴く。	国「お店の人に聞いてみよう」 図「セタ飾り」
9月	6	(知及技) 歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心をもち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌ったり、身体表現に楽しんで取り組む。(3段階Aア、Aエ) (思判表力) 拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだす。(3段階Bア、Aア、Aエ) (学・人) 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、味わって曲を聴く。(3段階)	(知・技) 歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心をもち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌ったり、身体表現に楽しんで取り組むことができている。 (思・判・表) 拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだしている。 (主学) 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、味わって曲を聴こうとしている。	○季節の歌を歌おう(歌) ・あきの子 まっかなあき ○まつりを楽しもう(エイサー)(器・音・身) ・唐船ドリー等 ○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・とんぼ あらうま ○物語の音楽を楽しもう(鑑) ・オーバーザレインボー	・考えて声の強弱の付け方を工夫して歌う。 ・バチの持ち方、構え、パーランクーの叩き方を知り、考えて曲に合わせて叩く。 ・とんぼが飛ぶ様子や馬が駆ける様子を想像しながら、身体表現する。 ・情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」「自然に親しむ」

2 学 期	10月	6	（知及技） 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりについて気付く。（3段階Bア） （思判表力） ①擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うのか工夫する。（3段階Bア、Aア） ②拍やリズムを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだす。（3段階Bア、Aア、AI、Aウ、AE） （学・人） 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付く、味わって曲を聴く。（3段階）	（知・技）曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりについて気付いている。 （思・判・表） ①擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うのか工夫している。 ②拍やリズムを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだしている。 （主学） 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付く、味わって曲を聴こうとしている。	○季節の歌を歌おう（歌） ・タやけ小やけ 虫のこえ ○まつりを楽しもう（器・音・身） ・村まつり ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・たたたんびょん 虫のがっそうたい ○物語の音楽を楽しもう（鑑） ・オーバーザレインボー	・曲調や歌詞から「こんなふうに歌いたい」という自分の思いに合った表現を教師の支援を受けながら考えて歌う。 ・考えて手拍子や太鼓でリズム奏をする。 ・歌詞に出てくる動物などの動きをイメージして、考えて楽器や身体で動きで表現する。 ・情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」「世界の国々」「自然に親しむ」
	11月	6	（知及技） 歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌う。（3段階Aア） （思判表力） ①友達の楽器の音を聴きながら、教師の支援を受け、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考える。（3段階AI） ②歌詞の表すイメージについて興味・関心をもち、そのイメージに合わせた身体表現に楽しんで取り組む。（3段階AE） （学・人） 友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする学習に楽しんで取り組もうとし、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも興味・関心をもち。（3段階）	（知・技） 歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌うことができている。 （思・判・表） ①友達の楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 ②歌詞の表すイメージについて興味・関心をもち、そのイメージに合わせた身体表現に楽しんで取り組もうとしている。 （主学） 友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする学習に楽しんで取り組もうとし、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも興味・関心をもちたりしようとしている。	○みんなで歌うリズムを楽しもう（歌） ・ピクニック ゆかいなまきば しょうじょうのためぬきばやし ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・おちゃらかほい ○楽器の音色を楽しもう（器・鑑） ・オーラリー ・ゴリウォークのケークウォーク	・歌詞に出てくる動物の鳴き声や擬音を考えて発音したり歌ったりする。 ・相手の動きを意識し、自分の動きを相手に合わせたり、異なる動作をしたりする。 ・考えてハンドベル、トーンチャイム、鉄琴などの楽器を演奏し、音の重なりやハーモニーを楽しむ。 ・考えて跳んだりギャロップしたり曲に合った動きをするなどして、楽しみながら曲を聴く。	国「リズムに親しもう」 体「表現運動」
	12月	8	（知及技） 歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う、体を動かしながら歌う技能を身に付けて歌う。（3段階Aア） （思判表力） 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて、考える。（3段階Bア、AI） （学・人） 旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組む。（3段階）	（知・技） 歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う、体を動かしながら歌う技能を身に付けて歌うことができている。 （思・判・表） 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて、考えている。 （主学） 旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。	○みんなで歌うリズムを楽しもう（歌） ・手と手と手と ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・ギャロップでおどろ ○楽器の音色を楽しもう（器・鑑） ・オーラリー ・小犬のワルツ	・季節を感じながら、考えて友達と声を合わせて楽しく歌う。 ・ピアノ伴奏や教師の歌声に合わせて、ギャロップを踏みながら歌う。 ・歌と一緒に、考えてハンドベルやトーンチャイム、鉄琴などの楽器を演奏する。 ・犬の動きを想像しながら曲を聴く。	生「生命・自然」 体「表現運動」

3 学 期	1月	6	(知及技) 音色やリズム、旋律、音の重なりを聴き取り、表現する技能を身に付ける。(3段階Bア、Aア) (思判表力) ①声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫する。(3段階Aア) ②旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、どのように表現しようかと考える。(3段階Aウ) (学・人) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 音色やリズム、旋律、音の重なりを聴き取り、表現する技能を身に付けている。(思・判・表) ①声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫している。 ②旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、どのように表現しようかと考えている。(主学) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ○お正月の歌(歌・鑑) ・お正月等 ○かけ合いを楽しみながら歌おう(歌) ・かくれんぼ ○いろいろな声で表現して遊ぼう(歌・音・身) ・もしもコックさん だったなら 手のひらをたいうに 山びこ ごっこ おしくらまんじゅう	・範唱や伴奏をよく聴いて歌う。 ・考えて声の強さや柔らかさに気をつけて歌う。 ・リズムを感じ取り、考えて交互唱をする。 ・考えて、曲に合わせて強弱の・拍子のリズムをとる。 ・教師の歌やピアノに合わせて、考えて速度や強弱に変化をつけながら身体表現する。	道「国やふるさとのよさ」
	2月	6	(知及技) 範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) (思判表力) ①階名唱を聴いたり、絵譜を見ながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考える。(3段階Aイ) ②簡単なリズムやパターンに気づき、どのように表現しようかと考える。(3段階Bア、Aエ) (学・人) 色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌うことができる。(思・判・表) ①階名唱を聴いたり、絵譜を見ながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 ②簡単なリズムやパターンに気づき、どのように表現しようかと考えている。(主学) 色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ○ドレミファソの音で遊ぼう(器) ・こぐまの二月 ○言葉のリズムで遊ぼう(歌・音・身) ・きたかぜ小ぞうのかんたろう だいくのきつつきさん 山ごや いっけん 赤おにと青おにのタンゴ	・範唱や伴奏をよく聴いて歌う。 ・考えて声の強さや柔らかさに気をつけて歌う。 ・拍を感じ取りながら、範唱を模倣して歌う。 ・階名唱をしたり、考えてキーボードやハンドベルで演奏したりする。 ・簡単なリズムの特徴や歌詞を感じ取り、考えて身体表現する。	生「生命・自然」 道「自然に親しむ」

	3月	6	(知・技) ①範唱や伴奏を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) ②楽器の名前を口答したり、選んだりする。(3段階Aイ) (思・判・表) ①旋律、リズムや拍を聴き取り、歌詞や曲の感じに合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。(3段階Aア) ②リズムや拍を聴き取り、歌詞や曲の感じに合った手拍子や動きについて考えをもつ。(3段階Aウ) ③楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考える。(3段階Aイ) (学・人) 歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって歌ったり、踊ったりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) ①範唱や伴奏を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌うことができている。 ②楽器の名前を口答したり、選んだりできている。 (思・判・表) ①旋律、リズムや拍を聴き取り、歌詞や曲の感じに合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ②リズムや拍を聴き取り、歌詞や曲の感じに合った手拍子や動きについて考えをもっている。 ③楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 (主学) 歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって歌ったり、踊ったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ・ブレーメンの音がくたい ○合奏を楽しもう(器・音) ・ちゃいろの小びん いふうどうどう ○オーケストラを聴こう(鑑) ・オーケストラのがつき	・範唱や伴奏をよく聴いて歌う。 ・考えて声の強さや柔らかさに気をつけて歌う。 ・考えて友達と一緒に音楽劇をする。 ・リズムの特徴に気が付き、音楽に合わせて自由に身体を動かしたり、手拍子したりする。 ・考えて打楽器と鍵盤楽器を合わせて合奏する。 ・楽器の名前や大きさを知り、音色の特徴に気付く。	国「お話を読む」 特「1年間を振り返ろう」
留意点 引継等			主に『おんがく☆☆☆』の題材を取り扱うが、行事や児童の実態によって他の題材を扱うことができる。				
評価方法			・ 三観点の確認 ・ 授業に対する取組姿勢 ・ 課題の処理意欲、態度 ・ 理解度、習得度 ・ 行動観察				

単位数／配当時間	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	12名		ワークシート

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。(小知的3段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。(小知的3段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。(小知的3段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 基本的な体作り運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(3段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(3段階Aイ) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。(3段階Aウ)	(知・技) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けようとしている。	体づくり運動① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミック リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	6	(知及技) 基本的な体作り運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(3段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(3段階Aイ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けながら、うがい・手洗いに取り組もうとする。(3段階Gア)	(知・技) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 (主学) 健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けながら、うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ 保健 ・うがい、手洗い (年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる 上体起こし 反復横とび 他 ・感想発表 ・うがい、手洗い	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

6月	8	(知及技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(3段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (3段階Cイ) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。(3段階Cウ)	(知・技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	走・跳の運動① ・リレーをしよう	・集合 ・準備体操 ・かけっこ - スタート、ゴールを確認する。 - 教師と一緒に走る。 1人で走る。 - 友達と一緒に走る。 - バトンパスをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
7月	6	(知及技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(3段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (3段階Cイ) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。(3段階Cウ)	(知・技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	走・跳の運動② ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう - i ハードルジャンプ - 片足、両足 - ii 的を触る 200cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
9月	6	(知及技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(3段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (3段階Dイ) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。(3段階Dウ)	(知・技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	水の中での運動① ・水と友達になろう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ - 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング - 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け - 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	10月	6	（知及技）水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（3段階Dア） （思判表力）水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Dイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Dウ）	（知・技）水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表）水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	水の中での運動② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・ボビング ・伏し浮き ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	6	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（3段階Eア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Eイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Eウ）	（知・技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム① ・ドッジボールをしよう	・集合 ・準備体操 ・ドッジボール 投げる、逃げる。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	12月	8	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（3段階Eア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Eイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Eウ）	（知・技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム② ・サッカーをしよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って、的に当てる。 ・ボール蹴って、ゴールに入れる。 ・サッカーをする。 ・勝敗を決める。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

3 学 期	1月	6	（知及技）器械・器具を使っの基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（3段階Bア） （思判表力）器械・器具を使っの基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Bイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Bウ）	（知・技）器械・器具を使っの基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表）器械・器具を使っの基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。	器械・器具を使っの運動①	・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 - i 跳び箱をまたぐ - ii マット上を転がる - iii マット上ジャンプ - iv 肋木昇降 - v 鉄棒ぶら下がり ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	2月	6	（知及技）器械・器具を使っの基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（3段階Bア） （思判表力）器械・器具を使っの基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Bイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Bウ）	（知・技）器械・器具を使っの基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表）器械・器具を使っの基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。	器械・器具を使っの運動②	・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 - i 跳び箱上からジャンプ - ii マット上を転がる - iii マット上で前転 - iv 平均台上を歩く - v トランポリン - vi 跳び箱を跳ぶ ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	6	（知及技）基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。（3段階Fア） （思判表力）基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（3段階Fイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。（3段階Fウ）	（知・技）基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりしている。 （思・判・表）基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えている。 （主学）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。	表現運動①	・ダンスをしよう	・集合 ・準備体操 ・ダンス - i 設定ダンス - 動物曲、流行曲 - ii 自由ダンス ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「もの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引き継ぎ等								
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	12名		ワークシート

年間目標						
道徳的諸価値の理解を基に、人間としてのよりよい生き方について考えながら他者とともにによりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。						
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・知らない人にも挨拶をすることの意義や大切さについて、考えること。 ・礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場合に応じて実践しようとするについて、考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「呼びかけてみよう」
	5月	3	・家族の愛情や家族の一員としての役割について考え、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもち、伝えることの大切さについて考え、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、考えること。 ・お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについて、考えること。 ・日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいか、また家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについて考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「説明文を読もう」
	6月	4	・みんなの行動について考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいかについて考えること。	生活 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「リズムに親しもう」 「長音・促音を読んでみよう」

	7月	2	・規則正しい生活や周りの人に対する態度について考え、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいかについて考えること。 ・物を大切にするものの価値に気づき、物を大切にすることについて考えること。	生活 ア 基本的生活習慣 ウ 日課・予定 オ 人との関わり 国語 「お店の人にきいてみよう」 「電話の相手と話をしよう」
2 学期	9月	3	・自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。また、友達と仲良くし助け合うことの大切さについて考え、よりよい友達関係を築こうとする。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって 【ここからわーく】 ・心地よい関わり（人との距離感を含む） 例：サイコロやルーレットゲームで同意の取り方、断り方を学ぼう ・ふわふわことば、ちくちくことば	・自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて自分との関わりで考えること。 ・友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりよい友達関係を築き、互いに助け合うことについて考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「演じてみよう」
	10月	4	・友達のよいところについて考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「ひらがなをかこう」 「カタカナをかこう」 「かん字をかこう」 「話し合いをしよう」
	11月	4	・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて、自分で考えること。 ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようとすることについて考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「図書室に行ってみよう」 「説明文を読もう」
	12月	3	・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。また、体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき考え、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、考えること。 ・みんなが使うものを大切にすることについて、考えること。	生活 イ 安全 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 「標識を読んでみよう」 「文をかこう」

3 学 期	1月	3	・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするについて考えること。 ・勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、考えること。	生活 イ 安全 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「昔話」 「カタカナのリズムを感じよう」
	2月	4	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることについて考え、生命を大切に生活しようとする。 ・身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとするとともに、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然と触れあおうとする。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて考えること。 ・自然や動植物に親しむことの大切さや、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについて考えること。	生活 エ 遊び オ 人との関わり サ 生命・自然 国語 「げきをしよう」 「推敲して発表しよう」
	3月	2	・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみをもちようとする。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・国や郷土の文化や生活について、考えることができる。 ・国や郷土の文化や生活のよさについて、考えることができる。 ・国旗に込められた意味とその大切さについて、考えること。 ・国旗や国歌の大切さについて、考えること。	生活 コ 社会の仕組みと公共施設 サ 生命・自然 国語 「お話を読む」
留意点 引き継ぎ等						
評価方法		・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	12名		Let's Try! 1.2

		(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。				
年間目標		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	〔知及び技〕いろいろな場面に応じた挨拶の言い方を知り、表現に慣れ親しむ。【(1)(ア)】 〔思判表力〕表情やジェスチャー等を工夫しながら挨拶をしよう。【(3)①ア(ア)】 〔学・人〕会話の中で様々な挨拶をしようとする。	〔知・技〕外国語活動時や他教科、学校生活全般を通じて、英語の挨拶表現を活用しようとしている。 〔思・判・表〕表情やジェスチャー等を交えて表現している。 〔主学〕ジェスチャーや表情等で挨拶しようとしている。	挨拶をして友だちになろう Hello, Hi, Goodbye, See you, Let's start English class. That's all for today. ごきげんいかが? How are you? I'm fine, good, hungry, tired	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語の挨拶をして、名刺をわたそう ・友達とごきげんいかが? を聞きあおう ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝えよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	5月	3	〔知及び技〕自分の事を伝える言い方を知り表現に慣れ親しむ。【(2)ア】 〔思判表力〕表情やジェスチャーの大切さに気付き、相手に伝わるよう工夫しながら自己紹介をする。【(3)②ア(1)】 〔学・人〕自分の名前や年齢を英語で話そうとする。	〔知・技〕自分の事を伝える言い方を知り表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕表情やジェスチャーの大切さに気付き、相手に伝わるように表現している。 〔主学〕自分の名前や年齢を英語で話そうとしている。	自己紹介をしよう What is your name? My name is Taro. I'm (名前) I'm (年齢) one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, Nice to meet you.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介をする。 ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝えよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	6月	4	〔知及び技〕曜日の言い方を知り、曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【(2)ア】 〔思判表力〕自分の好きな曜日を身振りを交えて伝え合うことができる。【(3)②ア(ア)】 〔学・人〕曜日を英語で話そうとする。	〔知・技〕外国語活動時や他教科、学校生活全般を通じて、英語で曜日を話したり、思い出そうとしたりしている。 〔思・判・表〕自分の好きな曜日を伝える際、身振りを交える等表現している。 〔主学〕曜日を英語で話そうとしている。	今日は何曜日? Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday What day is today? I like Friday. Days of the week	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が好きな曜日を伝える。 ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「長音促音を読んでみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」

	7月	2	〔知及技〕外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕身の回りの物について、何かを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする。	〔知・技〕外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕身の回りの物について、尋ねたり身振りを交えて表現したりしている。 〔主学〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	これなあに？ (身の回りの物) (Apple, Strawberry, Cherry, Grape, Peach, Watermelon, Lemon, Melon, Pineapple, Banana) What is this? That is a banana.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What's this? Song」 Grit for Kids ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ・3ヒントゲーム ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	9月	3	〔知及技〕日本語と英語の音声の違いに気付き、色や食べ物の言い方の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕色や食べ物について、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(1)】 〔学・人〕自分の好みを簡単な英語の表現で紹介しようとする。	〔知・技〕日本語と英語の音声の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕色や食べ物について、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて表現したりしている。 〔主学〕自分の好みを簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ (色、食べ物) red, blue, green, black, white, pink, yellow, orange What color do you like? I like ~ icecream, rice, fish, spaghetti What food do you like? I like ~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」 ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 ・よく聞いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」「説明文を読もう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	10月	4	〔知及技〕日本語と英語の音声の違いに気付き、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。【(1)イ(7)】 〔思判表力〕遊びについて、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕自分の好きな遊びを簡単な英語の表現で紹介しようとする。	〔知・技〕日本語と英語の音声の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕遊びについて、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする等工夫している。 〔主学〕自分の好きな遊びを簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ (いろいろな遊び) soccer, baseball, running, swimming What play do you like? I like soccer. ハロウィンを楽しもう ghost, witch, spider	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト(おばけ、魔女、くも) ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット(色、食べ物) ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「話し合いをしよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
2学期	11月	4	〔知及技〕動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕絵をみて、相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕簡単な英語の表現で動きの言葉を言おうとする。	〔知・技〕動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕絵をみて、相手に伝わるように答えたり伝えたりする等工夫している。 〔主学〕簡単な英語の表現で動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう (速く、ゆっくり) walk, jump, stop, sit, run, fast, slowly, go clap, stomp, shake, jump, touch	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて、動く。 ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「演じてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」

	12月	3	〔知及技〕外国の文化を知り、慣れ親しむ。【(1)イ(1)】 〔思判表力〕なじみのある言葉を伝え合ったり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする。	〔知・技〕外国の文化を知り、慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕なじみのある言葉を伝え合ったり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりして表現している。 〔主学〕大まかに外国の文化について知り、意欲的にコミュニケーションを図ろうとしている。	クリスマスだよ merry christmas, cake, candle, Santaclaus, present, December, reindeer	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer, Goodbye Snowman」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（クリスマスに関する） ・英語でフルーツバスケット（クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「図書室に行ってみよう」 音「季節の歌を歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
3学期	1月	3	〔知及技〕身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付く。【(2)ア】 〔思判表力〕相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕身の回りからアルファベットの文字を探そうとしたり、体で表現しようとする。	〔知・技〕身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くことができる。 〔思・判・表〕相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を表現している。 〔主学〕身の回りからアルファベットの文字を探そうとしたり、体で表現しようとしている。	アルファベットとなかよし (ABCD)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかいたアルファベットカードでかいたをする。 ・よく聞いて身体表現しよう (T, O, I, L, M, S, V, X, H) など ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「標識を読んでみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	2月	4	〔知及技〕家族を表す言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕身近な人について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(1)】 〔学・人〕家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとする。	〔知・技〕家族を表す言い方を知り、その表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕身近な人について、注目して見聞きしようと考えている。 〔主学〕家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとする。	この人はだれ？ (家族の紹介) mother, father, brother, sister Who is this? This is my mother. Who are you? I'm～	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム よく聞いて、絵カードを指さすゲーム（1人～複数人） ・絵本の読み聞かせ「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「文を書こう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	3月	2	〔知及技〕日課を表す表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	〔知・技〕日課を表す表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようと考えている。 〔主学〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	私の1日を紹介しよう wake up, eat, go, study, sleep, wash I wake up. I go to school. I take a bath.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ③フォニックス ④ダンス 1年間のダンスの中から選択	生「人との関わり」 国「推敲して発表しよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
留意点 引継等			※「ほしいものは何かな？」Let's Try! 2 (Unit 7) ※児童の実態に応じて、単元の入替えをしたり、扱う題材（動物、野菜）を追加・変更することがある。				
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察 ・プリント				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	12名		

年間目標	(知及び技) 知識及び技能		話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発したり、他者の話をきいたりすることができる。				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	3	(知及び技) 学年・学級の友達や教師について知り、仲良くしようすることができる。 (思判表力) ・友達や教師と仲良くしようとする気持ちを表現できる。 (学・人) ・友達や教師と仲良くできる。	(知・技) ・学年・学級の友達や教師について知ることができている。 (思・判・表) ・友達や教師と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) ・友達や教師と仲良くしようとしている。	①学年・学級開き ・学年、学級紹介、自己紹介(1) 【ここからわーく】 ・大きくなる体(身長体重測定)	①学年・学級紹介、自己紹介 ・個人・学級の目標決める。 ・係・当番を決める。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○生 オ・人との関わり「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
	5月	3	(知及び技) ・自分たちのことについて知ることができる。 (思判表力) ・他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現しできる。 (学・人) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。	(知・技) ・自分たちのことについて知ることができている。 (思・判・表) ・他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) ・他学年の友達と仲良くしようとしている。	①学年紹介(1) ・児童集会见よう。	①児童集会に向けて学年の紹介を見る。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○楽 A・表現 「音楽に合わせて踊ろう」 ○生 オ・人との関わり「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
I 学期	6月	4	(思判表力) 自分達だけで話し合いを行い、計画を立て実施することができる。 (知及び技) 不審者に出会ったときの対応について知ることができる。 (学・人) ・お楽しみ会を実施しようとする。 ・実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりできる。	(知・技) ・話し合いをしようとしている。 ・不審者に出会ったときの対応について知ることができている。 (思・判・表) ・お楽しみ会の内容を選んでいる。 ・不審者に出会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選んでいる。 (主学) ・お楽しみ会を実施しようとしている。 ・実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりしようとしている。	①お楽しみ会を計画しよう(1) ・遊び大会やクッキング ②不審者対応避難訓練(1) ・事後学習	①話し合いの進め方を確認する。 ・お楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ②動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求める練習をしたりして、不審者へに出会った時の対応の仕方を知る。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」

	7月	3	(学・人) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (思判表力) 自分の頑張ったことを振り返ることができる。 (知及技) 夏休みの過ごし方について知ることができる。	(知・技) ・児童集会の発表をしたり、見たりしている。 ・自分の頑張ったことを振り返っている。 (思・判・表) ・学年の事を知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現している。 ・夏休みの過ごし方について考えている。 (主学) ・他学年の友達と仲良くしようとしている。 ・夏休みにやりたいことを発表しようとしている。	①学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ②1学期頑張った会(1) ・個人目標振り返り ・夏休みの過ごし方について	①児童集会に向けて学年の紹介を見る。 ②個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・夏休みの過ごし方についての話を聞く。やりたいことの発表。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
	9月	3	(知及技) 2学期の学習内容についての話を聞き、見通しを持つことができる。 (学・人) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (思判表力) 自分なりにめあてを持ち、期待感を持って取り組む。	(知・技) ・学期の学習や行事について知ることができる。 (思・判・表) ・2学期に頑張りたいことを選んでいく。 (学・人) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。	①2学期頑張ろう会(1) ・2学期の学習、行事について知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会を見よう。	①2学期頑張ろう会で2学期の行事や学習についての話を聞く。 ②児童集会に向けて学年の紹介を見る。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」「話し合いをしよう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」
	10月	3	(思判表力) 情報化社会における自分の責任や義務について考え、ネットやスマホを安全で便利に使うことができる。	(知・技) ・ネットやスマホとの付き合い方について知ることができる。 (思・判・表) ・ネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えている。	①ネットやスマホの付き合い方(1) ・スマホの使い方について知ろう。	①新聞等を活用し、身近に潜むネットやスマホの危険性や身体への影響について知る。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」
2学期	11月	3	(思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (知及技) 地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。	(知・技) ・地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 (思・判・表) ・机の下に隠れる練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を表現している。	①学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ②地震津波避難訓練(1) ・事後学習	①児童集会に向けて学年の紹介を見る。 ②安全に便利に使うためには、どのような方法が良いか話し合う。 ・机の下に隠れる練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」

	12月	4	(知及技) ・2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 ・お楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 (思判表力) 自分で頑張ったことを振り返り発表することができる。 (思判表力) 自分達だけで話し合いを行い、計画を立て実施することができる。	(知・技) ・2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 ・お楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 (思・判・表) ・身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表している。 ・お楽しみ会の内容を選んでいる。	①2学期頑張った会(1) ・個人目標振り返り ②お楽しみ会を計画しよう(1) ・遊び大会やクッキング	①個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。2学期頑張った会で発表する。 ②話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。	○国A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」「話し合いをしよう」 ○音 A・表現 「音楽に合わせて身体を動かそう」 ○生 ウ・日課・予定「予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
	1月	3	(思判表力) 自分で頑張ったことを振り返り発表することができる。 (学・人) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (知及技) 児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を高める。 (思判表力) 児童会役員として、頑張っている人を見て応援することができる。 (知及技) 火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。	(知・技) ・児童会役員の心得などについて知ることができる。 ・火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 (思・判・表) ・児童会役員として、頑張っている人を見て応援することができる。 ・煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現している。 ・演目を表現している。 (主学) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。	①3学期頑張ろう会(1) ・3学期の学習、行事について知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ③児童会選挙(1) ・事前学習 ④火災避難訓練(1) ・事後学習	①3学期頑張ろう会で3学期の行事や学習についての話を聞く。 ②児童集会に向けて学年の紹介を見る。 ③児童会役員選挙について ・学年選挙 ④煙を吸わないように避難する練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○音 A・表現 「お正月の歌」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
3学期	2月	3	(思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。	(思・判・表) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持っている。	①学年紹介(3) ・児童集会を見よう。 ②「児童会役員引き継ぎ式・任命式」	①児童集会に向けて学年の紹介ビデオを見る。 ②「児童会役員引き継ぎ式・任命式」に参加する。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」

3月	3	(知及技) めあてを持ち、取り組むことができる。 (思判表力) 感謝の気持ちを持って会に参加することができる。 (思判表力) 自分が頑張ったことを振り返り、発表することができる。 (思判表力) 自分達だけで話し合いを行い、計画を立て実施することができる。	(知・技) ・会の内容や係分担について知ることができる。 (思・判・表) ・今まで関わってきた教師に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現することができる。	①6年生を送る会 (2) ・事前・司会や役割分担 ・会に参加する ②1年間を振り返ろう (1) ・1年間の振り返り ・個人目標振り返り ③お楽しみ会を計画しよう (1) ・遊び大会やクッキング	①送る会の内容や係分担について話し合い、めあてを持って活動する。 ・今まで関わってきた先生達に感謝の気持ちを伝える。 ②個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・5年生頑張った会に参加し1年間で頑張ったことを発表する。 ③話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する	○国 A・聞く・話すB・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○生 ウ・日課・予定「予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
留意点 引き継ぎ等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
280時間	5名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。□			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。□			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	22	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとする。【ケー(ア)】 (学・人) きまりに気付き、自ら行動を調整しようとする。	(知・技) 簡単なきまりについて関心を持っている。 (思・判・表) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりに従って行動しようとしている。	きまり ①自分の物と他者の物の区別 ②学校のきまり	1 物を適切な方法で貸し借りする。 2 貴重品や書類に触れたり、それらを持ち出したりしない。 3 落とし物を拾ったときは、教師に届けたり、持ち主を探して手渡したりする。 4 学校等で、必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 5 集会や校外学習等の時は、集団行動に必要な決まりを守る。	
	5月	25	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。【サー(イ)】 (思表判等) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【サー(ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 ①自然との触れ合い(年間を通して) ②季節の変化と生活(年間を通して) ここからわーく 基本的生活習慣 ・排泄の方法 ・きれいな体	1 草木や木の実、落ち葉等を集めたり、形や色などの特徴をつかんだり、植物の変化を捉えたりする。 2 天気予報や台風などの情報に関心をもつ。 3 正しい排泄方法 4 和式トイレ、洋式トイレの使い方 5 手洗いの手順	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」

6月	30	（知及技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 【イー（イ）】 （思判表力） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 【イー（ア）】 （学・人） 危険に気づき、安全な行動についての学習に取り組もうとする。	（知・技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 （主学） 危ないことや危険な場所等における安全について身につけようとしている。	安全 ①危険防止 ②交通安全 （年間を通して） 校外学習	1 危険な場所や状況を自分から回避したり、大人に知らせたりする。 2 交通信号の見方が分かり、信号に従う。 3 道路は右側を歩き、歩道のある場合は、歩道を歩く。 4 「通行止」「横断禁止」「危険」などの標識が分かり、指示を守る。 5 交通の頻繁な道路では遊ばない。 6 交通ルールを守り、安全に自転車に乗る。	
7月	18	（知及技） 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 【キー（イ）】 （思判表力等） 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとするすることができる。 【キー（ア）】 （学・人） 日常生活の手伝いや仕事に関心を持ち、取り組もうとする。	（知・技） 簡単な手伝いや仕事に関心をもっている。 （思・判・表） 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 （主学） 教師の支援を受けながら考えて日常生活の手伝いや仕事を進んでしようと取り組んでいる。	手伝い・仕事 ①手伝い ②整理整頓 ③戸締り （年間を通して）	1 自分から調理や製作などの様々な手伝いをする。 2 仕事に使う道具や器具に慣れる。 3 道具や器具を大切に扱う。 4 調理や製作の手伝いをする。 5 他の教室などへ、伝言に行く。 6 掃除用具、運動用具、図書等の整理整頓をする。 7 教室や特別教室の椅子や机の整頓をする 8 窓の開閉、戸締まり等をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
9月	28	（知及技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 【イー（イ）】 （思判表力） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 【イー（ア）】 （学・人） 危険に気づき、安全な行動についての学習に取り組もうとする。	（知・技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 （主学） 危ないことや危険な場所等における安全について身につけようとしている。	安全 ①避難訓練 ②防災 （年間を通して） 校外学習	1 避難のときは、教師の指示に従う。 2 火災時と地震時の避難の仕方が分かり、教師と一緒に適切に行動する。 3 火災や地震等の災害に気付き、教師の話を聞き適切に行動しようとする。 4 地域の安全な場所が分かり、教師と一緒に緊急時に移動する。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」

2 学 期	10月	30	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【サー (イ)】 (思表判等) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする ことができる。 【サー (ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 ①動物の飼育・植物の栽培 (年間を通して) 校外学習	1身近な昆虫や魚、小鳥等を観察したり、飼育したりする。 2 草花や野菜等を栽培し、観察する。 3 飼育や栽培では、タブレット端末等の情報機器を効果的に活用し、特徴や変化に関心をもって観察する。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」
	11月	30	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。【ケー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しよう とすることができる。 【ケー(ア)】 (学・人) きまりに気付き、自ら行動を調整しようとする。	(知・技) 簡単なきまりについて関心を持っている。 (思・判・表) 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 簡単なきまりに従って行動しようとしている。	きまり ①日常生活のきまり ②マナー 校外学習	1 公園や図書館等の決まりを守る。 2 火災報知器や消化器等の非常用設備の使用法について、およそを理解する。 3 公共交通機関や病院、図書館等で静かに行動したり過ごしたりするなど、公共の場におけるマナーを身に付ける。	
	12月	22	(知及技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。 【ウー (イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しよう とすることができる。 【ウー (ア)】 (学・人) 日課・予定があることに気づき、見通しを持って学習に取り組もうとする。	(知・技) 日常生活の日課・予定が分かっている。 (思・判・表) およその予定を考えながら、教師の支援を受けながら考え見通しを持って行動している。 (主学) 教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。	日課・予定 ①一週間程度の予定 ②学校行事や家庭の予定 (年間を通して)	1 日常生活におけるおよその予定がわかり、主体的に行動する。 2 一週間程度の予定がわかる。 3 カレンダーや予定表を見て、学校行事や家庭の予定などに従って行動する。 4 予定の変更に落ち着いて対応する。	国「説明文を読もう」 算「しらべよう」
	1月	25	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【サー (イ)】 (思表判等) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えよう とすることができる。 【サー (ア)】 (学・人) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持ち、学習に参加しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化を理解している。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心を持って教師の支援を受けながら考えて調べたり、表現しようとして取り組もうとしている。	生命・自然 ①季節の変化と生活 (年間を通して)	1 太陽の出没の方角や月の満ち欠け等を観察する。 2 四季の変化に関心をもつ。 3 天気予報に関心をもつ。 4 季節と行事の関係に関心をもつ。	国「役割をもって伝えよう」 「説明文を読もう」 「文をかこう」 算「10といくつ」 図「見てみよう」

3 学 期	2月	30	（知及技） 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 【キー（イ）】 （思判表力等） 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする 【キー（ア）】 （学・人） 日常生活の手伝いや仕事に関心を持ち、取り組もうとする。	（知・技） 簡単な手伝いや仕事に関心をもっている。 （思・判・表） 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 （主学） 教師の支援を受けながら考えて日常生活の手伝いや仕事を進めようとしている。	手伝い・仕事 ①そうじ ②後片付け （年間を通して） 校外学習	1 場所に適した掃除用具等を選択し、決められた場所の掃除をする。 2 自分から決められた場所に道具等を片付ける。 3 手伝いや仕事の終了時に報告をする。	国「役割をもって伝えよう」 算「10といくつ」
	3月	20	（知及技） 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 【オー（イ）】 （思表判等） 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしよう 【オー（ア）】 （学・人） 教師や身の回りの人に気付き、関わろうとする。	（知・技） 身近な人との簡単な対応の仕方を理解している。 （思・判・表） 自分との関わりが分かり、教師の支援を受けながら考えて簡単な対応などをしようとしている。 （主学） 教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。	人との関わり ①自分自身と家族 ②身近な人との関わり ③気持ちを伝える対応 （年間を通して）	1簡単な自己紹介をする。 2 身近な人に簡単な日常のあいさつをする。 3 見たこと、聞いたこと、遊んだことを教師や友達と話し合う。 4 友達のあやまちをむやみにとがめない。 5 友達との約束を守る。 6 「ありがとう」「ごめんなさい」を適切に言う。	国「電話の相手と話をしよう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
140時間	5名		こくご☆☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる ようにする。□				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる ようにする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	13	(知及び技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 【ア－(イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。【B－ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている	・絵から想像してみよう おはなしできるかな	・絵を見て、「どこへ行ったのか」「何を買ったのか」「何をしていた遊ぶか」「何ができるか」の場面から連想するイメージを表現する。 ☆年間を通して指導する。	生活 「公共施設を知ろう」 算数 「くらべてみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別活動 「遊び大会をしよう」
	5月	13	(知及び技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 【ア－(イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。【B－ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている	文の構成 ・くわしくはなそう	・色や量、長さを表す 形容詞を使ってものの状態を説明したり反対の意味を聞いたり使ったりして表現をする。 ☆年間を通して指導する。	算数 「なかま分け」 図画工作 「見てみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」
	6月	13	(知及び技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。【ア－(ア)】 (思判表力) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。【A－イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 教師と一緒に身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	・なかま集め あつめてみよう	テーマに沿った場面を思い浮かべ、絵を指差したり関係する言葉を話したりする。 ・実際の誕生会やパーティ等の写真を用意し、その時に使ったものや気持ち等、身振りや言葉で表現する。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「数えようくらべよう」 「10といくつ」 音楽 「盛り上がりを感じて歌おう」 特別の教科 道徳 「挨拶の相手」 特別活動 「学年・学級開き」

	7月	13	(知及技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー(エ)】 (思判表力) 教師の支援を受けながら絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【C-イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現している。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・日常生活の言葉 ひらがなをよんでみよう	・50音の配列を参考に「あ段」の言葉からリズムよく読み進める。 ・知っている平仮名や自分の名前に使われている平仮名を探し声に出して読む。 ・「あ」のつく言葉等の言葉集めをし、知っている言葉の数を増やす。 ☆年間を通して指導する。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「形をつくろう」 図画工作 「描いてみよう」 体育 「ダンス」 特別の教科 道徳 「友達の気持ちになろう」 特別活動 「運動会頑張るぞ」
	9月	13	(知及技) 遊びを通して、教師の支援を受けながら言葉のもつ楽しさに触れること。【イー(イ)】 (思判表力) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師の支援を受けながら登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。【C-エ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 遊びを通して、教師の支援を受けながら言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師の支援を受けながら登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・リズムに親しもう わらべうた	3段階 リズムや言葉の響きを楽しみながらわらべ歌遊びをする。	生活 「身近な生き物や自然を知ろう」 算数 「形を作ろう」 音楽 「動物の鳴き声で遊ぼう」 図画工作 「感想画」 特別な教科 道徳 「生命がもつ力」
	10月	13	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【アー(イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。【B-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・話し合いをしよう たのしかったえんそく	・体験したことを振り返り、思い浮かべたことを言葉や身振り等で表現したり発表したりする。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「位置を表す言葉」 音楽 「季節の歌を歌おう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「よさを伸ばす」
2学期	11月	13	(知及技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー(エ)】 (思判表力) 教師の支援を受けながら絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【C-イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現している。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・説明文を読もう のりもの	・ものの状態や様子等を短く説明した文章を読む。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方や簡単な漢字の読み方などを確認し、本文の文字を追って読む。 ☆年間を通して指導する。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「足し算」 特別の教科 道徳 「周囲への感謝」 特別活動 「児童集会のビデオを作ろう」

	12月	13	(知及技) 教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。 【イー(ウ)㊦】 (思判表力) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【B-イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (思・判・表) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・日常生活の言葉 ひらがなをかいてみよう (年賀状作成等) ひらがな なまえ よこがき たてがき ・「愛汗祭」に取り組もう	・絵を見ながら何か確認し、指でなぞってから筆記具を使ってなぞる。 ・ひらがなと音を一致させる。 ・正しい書写の姿勢で、マス目の中に文字を縦書きや横書きで書く。 ☆年間を通して指導する。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「身近な人たち」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「交流会をしよう」
	1月	12	(知及技) 教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。 【イー(ウ)㊦】 (思判表力) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【B-イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (思・判・表) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	・日常生活の言葉 ひらがなをかいてみよう (かきぞめ等) ひらがな なまえ よこがき たてがき ・「愛汗祭」に取り組もう	・絵を見ながら何か確認し、指でなぞってから筆記具を使ってなぞる。 ・ひらがなと音を一致させる。 ・正しい書写の姿勢で、マス目の中に文字を縦書きや横書きで書く。 ☆年間を通して指導する。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「身近な人たち」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「交流会をしよう」
3学期	2月	12	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 【イー(ア)】 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 【A-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。 (1段階)	(知・技) 昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	昔話 ・おじいさんとねずみのはなし	・教師の読み聞かせを聞いたり挿し絵を見たりしながら、昔話のフレーズを真似したり、音読を発表したりする。	算数 「しらべよう」 特別の教科 道徳 「よいことをすすんで」 特別活動 「学年紹介」

	3月	12	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 【イー(ア)】 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 【A-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	昔話 ・おじいさんとねずみのはなし	・教師の読み聞かせを聞いたり挿し絵を見たりしながら、昔話のフレーズを真似したり、音読を発表したりする。	算数 「しらべよう」 特別の教科 道徳 「よいことをすすんで」 特別活動 「学年紹介」
留意点 引き継ぎ等			行事や児童の実態によって他の題材を扱うことができる。				
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105時間	5名		さんすう☆☆(1) さんすう☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的1段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的1～3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	7	※全ての目標において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知及技) ものともとのとを対応させて配ることができる。(アイ(ア)ア) 分割した絵カードを組み合わせることができる。(アイ(ア)イ) (思判表力) ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(アイ(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	※全ての評価規準において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知・技) ものともとのとを対応させて配っている。分割した絵カードを組み合わせている。 (思・判・表) ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現している。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P20～21 みんなに、くばりましょ う ☆本P22 ・あわせましょ①② ☆本P26 ・なかまをあつめましょ う	みんなに、くばりましょ う ・児童がイメージしやすい給食場面を取り上げて、児童の机にそれぞれお盆やお碗を置いたりする活動を通して、一対一に対応させていく。 あわせましょ①② ・興味関心のあるイラストを提示し、簡単な2分割からスタートする。2分割ができたなら、3分割、4分割と難易度を上げる。 ・縦分割、横分割の組み合わせに取り組み、どこに視点を当てたらいいのかを具体物の操作をしながら体験的な学習を行う。それぞれの絵カードの情報を読み取り、着目した視点について振り返る。 なかまをあつめましょ う ・なじみのある食べ物や乗り物、動物などを性質や用途、所属などのいろいろな属性で仲間分けする活動を行う。 ・教室にある物や身近にある物、人等に視点を向けるように促し、自分で決めた属性で仲間分けをする活動を行う。	
1学期	5月	8	(知及技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。(Bア(ア)イ) ・5までの範囲の数唱ができる。(Bア(ア)ウ) (思判表力) 数詞ともとのとに関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表している。 ・5までの範囲で数唱している。 (思・判・表) 数詞ともとのとに関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P30 ・いち、に、たくさん ☆本P32 ・いち、に、さん、し、ご	いち、に、たくさん ・たくさんあるボールの中から自分でボールを取り、的当てやボウリングなどのゲームを通して1個や2個、たくさんを表現できる活動を行う。 ・ボールがたくさん入っているかごや、館が入っている袋から実際に取り出しながら、たくさんあることを感覚を使いながらいち、に、さん、し、ご ・教師や友達の数に合わせて、好きなものや興味のある物を操作し、「自分で数えている」と実感できる活動を行う。 ・遊びなどを通して、手を叩いたり、物で音を鳴らしたりしてリズムよく唱える活動を行う。	
	6月	10	(知及技) 3までの範囲で具体物をとることができる。(Bア(ア)エ) (思判表力) 数詞ともとのとに関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) 3までの範囲で具体物をとっている。 (思・判・表) 数詞ともとのとに関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P34 ・とりましょ う ☆本P36 ・まーくに、あわせて、ならべましょ う	とりましょ う ・興味のある具体物(おもちゃやお菓子)の中から、好きなものを選択し、1～3までの指定された数を聞いて、具体物を取る活動を行う。 まーくに、あわせて、ならべましょ う ・ボウリングや的当て等の遊びの中でマークを手がかりに必要な物を置く活動を行う。 ・当番活動(プリントや牛乳等)をマークを手がかりに行う。	

	7月	8	（知及技）形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。（Bア（ア）カ） （思判表力）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。（Bア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付いている。 （思・判・表）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P44 ・ぜんぶ、「さん」	・教室にあるもので「3」個を探して種類や向きが変わっても数が変わらないことに注目する活動を行う。 ・教室外に出て、校内で「3」個のものを探して違う角度から写真を撮っても、数が変わらないことに注目する活動を行う。 ・1学期で学習したことを振り返る。	
	9月	12	（知及技）形を観点に区別することができる。（Cア（ア）イ） （思判表力）対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物をとらえることができる。（Cア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）形を観点に区別している。 （思・判・表）対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物をとらえている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P48 ・かたちを、つくりましょう ☆本P50 ・かたちを、あわせましょう	かたちを、つくりましょう ・粘土を使って、自分で形を変えることに興味を持つ活動を行う。 ・手のひらを使って、丸めたり、押しつぶして平らにしたり、伸ばしたりして形の変化を楽しむ活動を行う。 ・型抜きを使って、色々な形をかたどったり、同じ形を何個も作ったりして形の違いや似ているものに注目する活動を行う。 かたちを、あわせましょう ・丸や三角の具体物を使用し、実際に触れながら形の違いを感じ形を合わせる活動を行う。	
2学期	10月	12	（知及技）形が同じ物を選ぶことができる。（Cア（ア）ウ） （思判表力）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。（Cア（イ）イ） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）形が同じ物を選んでいる。 （思・判・表）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）教師の働きかけで学習に取り組んでいる。 ・教師と共に学習に取り組んでいる。 ・日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	☆本P54 ・おなじかたちを、みつけましょう ☆本P48 ・おなじかたちを、えらびましょう	おなじかたちを、みつけましょう ・段ボールや積木などを使って、同じ形の物や違う形の物を並べたり、積み上げたりし、遊びながら形の選択を促す活動を行う。 おなじかたちを、えらびましょう ・教科書の透明シートの操作を行い、はめ板とピースを重ね合わせて、同じ形であると認識させる。その後型はめ教材を使用し、型はめを行う。 ・三角2つでちょうちょをつくるなど、簡単な色板教材を使用し、形に着目して同じ形を見つける作業を繰り返す。	
	11月	11	（知及技）似ている二つのものを結び付けることができる。（Cア（ア）エ） ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。（Cア（ア）オ） （思判表力）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。（Cア（イ）イ） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）似ている二つのものを結び付けようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 （思・判・表）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）教師の働きかけで学習に取り組んでいる。 ・教師と共に学習に取り組んでいる。 ・日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	☆本P62 ・にているものを、みつけましょう ☆本P64 ・そろえましょう	にているものを、みつけましょう ・ボールを使ったスロー遊びやボウリングを通して、この形は「転がる」という視点を持てるような授業展開を行う。形をだまかに捉え、同じか同じでないかを区別できるようにする。 そろえましょう ・自分が実際に身に着けているものやかばんに入っているものを活用しながら、対になっていることを学習する。 ・カードを使い、対になっているかを推測する学習を行う。	

	12月	9	（知及技）同じもの同士の集合づくりをすることができる。（Cア（ア）㊸） （思判表力）ものどもの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすことができる。（Cア（イ）㊹） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）同じもの同士の集合づくりをすることができる。 （思・判・表）ものどもの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かしている。 （主学）教師の少ない働きかけで学習に取り組んでいる。教師と共に学習に取り組んでいる。日常生活や当番活動に学んだことを活用している。	☆本P66 ・おなじかたちを、あつめましょう	・三角柱や四角柱などの積み木を使って、同じ形の仲間分けを行う。最初は、個数を少なくし、徐々に数や形の種類を増やして、「同じ」や「違う」の区別ができているか確認できる活動を行う。 ・2学期で学習したことを振り返る。	
	1月	11	（知及技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。（Dア（ア）ア） （思判表力）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 （思・判・表）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 （主学）身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P70～71 ・おなじ、ちがう	・2つの具体物をよく観察し、「同じである」「同じではない」部分に注目できるように注目したり、触ったりして判断する。 ・「同じである」「同じではない」ことを、用語「同じ」「違う」を用いて表現する。 ・複数の具体物の中から同じ物を選ぶ、探す。 ・大小や多少等で区別することに関心を持つ。	
3学期	2月	11	（知及技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。（Dア（ア）ア） ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現することができる。（Dア（ア）イ） （思判表力）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目している。 （思・判・表）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 （主学）身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P72 ・おおきい、ちいさい①②	・子どもと大人の服を着たり、合わせたりして大きさの違いを確認する。 ・教科書のように粘土や砂を使って、実際に大きさの違いを目で見て確認しやすい活動を行う。 ・生活経験などをとおして「大きい」と認識していると思われるもの（乗り物や建物など）を動画や画像で見る。 ・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別し、用語を用いる。（玩具のバスや本物のバス等）	体育「ボールを使った運動やゲーム」

	3月	6	(知・技) 大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 (Dア (ア) ア) ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現することができる。 (Dア (ア) イ) (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (Dア (イ) ア) (学・人)、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) 大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主・学) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P76 ・おい、すくない①② ☆P80 ・ながい、みじかい	おい、すくない ・同じ大きさのコップに水やジュースを入れたり、給食の量で違いを示したりして視覚的に判断できるような活動を行う。 ながい、みじかい ・具体物を使ったおもちゃやゲームなどを通して楽しみながら長さの学習を行う。 ・1年間で学習したことを振り返る。	体育「ボールを使った運動やゲーム」
留意点 引き継ぎ等			(学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。				
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70 時間	5 名		おんがく☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4 月	6	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりする。(Ⅰ段階 Aア) (思判表力) 楽器の音を聴いて、教師と一緒に二択で選ぶ。(Ⅰ段階 Bア) (学・人) 教師と一緒に拍や曲の特徴的なリズムを感じ取る。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりすることができる。 (思・判・表) どの楽器の音かを聴いて、教師と一緒に二択で選んでいる。 (主学) 教師と一緒に拍や曲の特徴的なリズムを感じ取ろうとしている。	○いろいろなリズム (器・音) ・ミッキーマウスマーチ ○音楽に合わせて踊ろう (身・鑑) ・おどろうたのしいポーレチケ ○季節の歌を歌おう (歌) ・はるのかぜ ・はるがきた	・示範の表現を見ながら、拍やリズム、旋律を表現する。 ・示範の表現を見ながら、歌詞に出てくる情景をイメージして身体表現をする。 ・歌詞に合わせ、身体表現をしたり歌ったりする。	体「体づくり運動」 特「学年・学級開き」
	5 月	6	(知及技) 歌や音楽を聴いて、教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりする。(Ⅰ段階 Aア) (思判表力) 教師と一緒に歌に合わせて鈴を鳴らそうとしている。(Ⅰ段階 Aア) (学・人) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりすることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に歌に合わせて鈴を鳴らそうとしている。 (主学) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。	○盛り上がりを感じて歌おう (歌) ・せんろはつづくよどこまでも ○いろいろなリズム (器・身) ・たのしいね ○音楽に合わせて踊ろう (身) ・だるまさんがおどった	・リズムや速度の面白さに気付き、踊ったりする。 ・伴奏に合わせて歌ったり、部分的に歌ったりする。 ・手拍子で合いの手を入れる。 ・世界の国のダンスを知り、歌ったり踊ったりする。	体「表現運動」 特「学年紹介」
	6 月	8	(知及技) 範唱を聴いて、教師と一緒に声を出す。(Ⅰ段階 Aア) (思判表力) 教師の師範を見て、教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現している。(Ⅰ段階 Aア) (学・人) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。(Ⅰ段階)	(知・技) 範唱を聴いて、教師と一緒に声を出すことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現している。 (主学) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。	○ドレミの音で遊ぼう (器) ・かえるのがっしょう ○身振りをつけてみんなて歌おう (歌・身) ・さんば テルテルボーイズ ○リズムをつくろう (音) ・雨の音がくをつくろう ○わらべうた (歌・身)	・階名唱をしたり、キーボードや鍵盤ハーモニカなどの旋律楽器を演奏したりする。 ・歌詞に出てくる情景や生き物等をイメージするような動作をしながら歌う。 ・楽器で雨の音を表現する。 ・歌詞に出てくる言葉に合わせた動作をしながら、曲に合わせて身体表現する。	生「生命・自然」 体「表現運動」 道「自然とふれ合う」

	7月	6	（知及技）声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりする。（Ⅰ段階Ａア） （思判表力）教師と一緒にツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らす。（Ⅰ段階Ａア） （主学）教師と一緒に挿絵や絵本を見ながら歌を聴き、登場人物になったつもりで声を発したり、歌を歌ったり、動作をしている。（Ⅰ段階）	（知・技）声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌うことができる。 （思・判・表）教師と一緒にツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らすようにしている。 （主学）教師と一緒に登場人物になったつもりで声を発したり、歌を歌ったり、動作をしている。	○みんなで歌おう（歌・身） ・やおやのおみせ ○ドレミの音で遊ぼう（器） ・きらきらぼし ○どんな音やりズムが聞こえてくるかな（鑑） ・シンコペイテッドクロック	・友達と交互唱をする。 ・に階名唱をしたり鍵盤楽器を演奏したりする。 ・ウッドブロックとトライアングルの音を聴き比べ、楽器の音色やリズムを感じながら聴く。	国「お店の人に聞いてみよう」 図「七夕飾り」
2学期	9月	6	（知及技）音楽が流れる中で、教師と身体表現する。（Ⅰ段階Ａア） （思判表力）教師と一緒に伴奏の速度に合わせて体の部位を触ろうとしている。（Ⅰ段階Ａア） （学・人）教師と一緒に、小道具を使って主人公になりきって動こうとしている。（Ⅰ段階）	（知・技）音楽が流れる中で、教師と身体表現することができる。 （思・判・表）教師と一緒に伴奏の速度に合わせて体の部位を触ろうとしている。 （主学）教師と一緒に、小道具を使って主人公になりきって動こうとしている。	○季節の歌を歌おう（歌） ・あきの子 ・まっかなあき ○物語の音楽を楽しもう（鑑） ・オーバーザレインボー ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・とんぼ ・あらうま ○まつりを楽しもう（エイサー）（器・音・身） ・唐船ドイ等	・声の強弱をつけながら歌う。 ・リズムやテンポの遅速、曲の雰囲気を感じながら曲を聴く。 ・とんぼが飛ぶ様子や馬が駆ける様子を、身体表現する。 ・曲に合わせてパーランクーを叩く。	生「生命・自然」 体「表現運動」 道「自然とふれ合う」 「国やふるさとのよさ」
	10月	6	（知及技）教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌ったりする。（Ⅰ段階Ａア） （思判表力）音楽が流れる中で、教師と一緒にバスごっこ遊びの表現をしている。（Ⅰ段階Ｂア） （学・人）運動士になったつもりで、自分なりに表現しようとしている。（Ⅰ段階）	（知・技）教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌うことができる。 （思・判・表）音楽が流れる中で、教師と一緒にバスごっこ遊びの表現をしている。 （主学）運動士になったつもりで、自分なりに表現しようとしている。	○季節の歌を歌おう（歌） ・タやけ小やけ ・虫のこえ ○まつりを楽しもう（器・音・身） ・村まつり ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・たたたんびょん ・虫のがっそうたい ○物語の音楽を楽しもう（鑑） ・オーバーザレインボー	・音の強弱や声の強さや柔らかさなど、教師の歌声を真似て歌う。 ・手拍子や太鼓でリズム奏をする。 ・歌詞に出てくる動物などの動きをイメージして、楽器や体の動きで表現する。 ・リズムやテンポの遅速、曲の雰囲気を感じながら曲を聴く。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」 「世界の国々」
	11月	6	（知及技）いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむ。（Ⅰ段階Ａア） （思判表力）教師や友達と一緒に、歌詞に合わせて手のひらで動作をして楽しもうとしている。（Ⅰ段階Ａア） （主学）音楽が流れる中で、教師と一緒にワルツのリズムで左右に体を動かそうとしている。（Ⅰ段階）	（知・技）いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむことができる。 （思・判・表）教師や友達と一緒に、歌詞に合わせて手のひらで動作をして楽しもうとしている。 （主学）音楽が流れる中で、教師と一緒にワルツのリズムで左右に体を動かそうとしている。	○みんなで歌うリズムを楽しもう（歌） ・ピクニック ゆかいなまきば しょうじょうじのたぬきばやし ○音楽に合わせて身体を動かそう（音・身） ・おちゃらかほい ○楽器の音色を楽しもう（器・鑑） ・オーラリー ・ゴリウォークのケーキウォーク	・教師や友達の歌声を真似て、歌詞に出てくる動物の鳴き声や擬音を発音したり歌ったりする。 ・教師や友達の動きを真似たり、友達と異なる動作をしたりする。 ・ハンドベル、トーンチャイム、鉄琴などの楽器の音を出し、音の重なりやハーモニーを楽しむ。 ・跳んだりギャロップしたり曲に合った動きをするなど、楽しみながら曲を聴く。	国「話し合いをしよう」 体「表現運動」

	12月	8	(知及技) 教師と一緒に、大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏したりする。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現している。(1段階Aア) (学・人) 教師と一緒に、曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしようとしている。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に、大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏できる。 (思・判・表) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現している。 (主学) 教師と一緒に、曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしようとしている。	○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・ギャロップでおどろく ○楽器の音色を楽しもう(器・鑑) ・小犬のワルツ ○みんなで歌うリズムを楽しもう(歌) ・手と手と手と ○楽器の音色を楽しもう(器) ・オーラリー	・ピアノ伴奏や教師の歌声に合わせてギャロップを踏む。 ・曲調の違いを感じながら曲を聴く。 ・歌詞に合わせて自身や友達の身体部位に触れ、友達と関わり合いながら楽しむ。 ・ハンドベル、トーンチャイム、鉄琴などの楽器の音を出し、音の重なりやハーモニーを楽しむ。	体「体づくり運動」 「表現運動」
	1月	6	(知及技) 教師と一緒に、リズムに合わせて、動物の真似っこをしたり、声を出したりしながらやりとりしている。(1段階Aア) ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に声を出したり、歌ったりする。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	(知・技) 教師と一緒に、リズムに合わせて、動物の真似っこをしたり、声を出したりしながらやりとりしている。 ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に声を出したり、歌ったりしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ○かけ合いを楽しみながら歌おう(歌) ・かくれんぼ ○いろいろな声で表現して遊ぼう(歌・音・身) ・もしもコックさんだったなら ・手のひらをたひように ・山びこごっこ ・おしくらまんじゅう ○お正月の歌(歌・鑑) ・お正月等	・友達と交互唱をする。 ・範唱や伴奏を聴いて、曲の一部を歌う。 ・曲に合わせて強弱弱の3拍子のリズムをとる。	道「国とふるさとのよさ」
3学期	2月	6	(知及技) 音楽を聴き、歌詞に合わせながら、教師と一緒に、声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりしている。(1段階Aア) (思判表力) 旋律やリズムを聴きながら、教師の働きかけにより児童同士で関わって遊んでいる。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 音楽を聴き、歌詞に合わせながら、教師と一緒に、声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりしている。 (思・判・表) 旋律やリズムを聴きながら、教師の働きかけにより児童同士で関わって遊ぶことができる。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ○言葉のリズムで遊ぼう(歌・音・身) ・きたかぜ小ぞうのかんたろう ・だいくのきつつきさん ・山ごやいっけん ・赤おにと青おにのタンゴ ○ドレミファソの音で遊ぼう(器) ・こぐまの二月	・教師の範唱を聴いて、曲の一部を模倣して歌う。 ・範唱や伴奏を聴いて、曲の一部を歌う。 ・簡単なリズムの特徴や歌詞に合わせて、身体表現する。 ・階名唱をしたり、キーボードやハンドベルで演奏したりする。	生「生命・自然」 道「自然とふれ合う」

	3月	6	（知・技）わらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりしている。（Ⅰ段階Ａア） （思・判・表）教師と一緒に、音楽が流れている中で動物になったつもりで体を動かしている。（Ⅰ段階Ａア） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。（Ⅰ段階）	（知・技）わらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりしている。 （思・判・表）教師と一緒に、音楽が流れている中で動物になったつもりで体を動かしている。 ・音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 （主学）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○声を合わせて歌おう、表現しよう（歌・身） ・ともだちになるために ・ブレーメンの音がくたい ○合奏を楽しもう（器・音） ・ちゃいろのくびん ・いふうどうどう ○オーケストラを聴こう（鑑） ・オーケストラのがっき	・範唱や伴奏を聴いて、曲の一部を歌う。 ・友達と一緒に音楽劇をする。 ・リズムの特徴を感じ取り、自由に体を動かしたり、手拍子したりする。 ・打楽器や鍵盤楽器で合奏する。	国「お話を読む」 特「1年間を振り返ろう」
留意点 引き継ぎ等			主に『おんがく☆』の題材を取り扱うが、行事や児童の実態によって他の題材を扱うことができる。				
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時間	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	5名		

年間目標		(知及技) 知識及び技能		形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(2段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや美しさを感じ取ったりすることができるようにする。(2段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 様々な種類の紙を使った制作活動を通して、色々な形や色に気付くことができる。(1段階A共通事項ア(7)) 教師と一緒に、様々な紙をくしゃくしゃにしたり、破いたりすることができる。(1段階Aア(1)) (思判表力) 様々な紙の材質や色などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様を表すことができる。(1段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に様々な種類の紙を使った制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) 様々な種類の紙を使った制作活動を通して、色々な形や色に気付いている。 教師と一緒に、様々な紙をくしゃくしゃにしたり、破いたりしている。 (思・判・表) 様々な種類の紙を使って、教師と一緒に色々な形や模様を表している。 (主学) 教師と一緒に様々な種類の紙を使った制作活動に取り組もうとしている。	・描いてみよう ～模様を描こう～ 合わせ絵	・使いたい色の絵の具や紙類を選んだり、絵の具で混色を作ったりする。 絵の具を画用紙等に垂らし、画用紙等で挟んで色々な模様をつくる。 作品を紹介し合う。	算「位置を表す言葉」
	5月	6	(知及技) 粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階A共通事項ア(7)) 教師と一緒に、粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりすることができる。(1段階Aア(1)) (思判表力) 材料から自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様を表すことができる。(1段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に粘土に働きかけることを通して、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) 粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付いている。 教師と一緒に、粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりしている。 (思・判・表) 材料から自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様を表している。 (主学) 教師と一緒に粘土の感触を楽しもうとしている。	・作ってみよう ～カップを使って～ 動物、糸電話など	・ゼリーカップや紙コップなど、色々な形や素材の容器を組み合わせて動物を作る。 色々なカップや紙コップなどを使って糸電話を作る。 作った作品を紹介し合ったり、糸電話で遊んだりする。	生「ものの仕組みと働き①」 算「合わせていくつ」「くらべてみよう」「形をつくらう」

6月	8	（知及技）絵の具を使った制作活動を通して、色の違いや絵の具の感触に気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） 教師と一緒に絵の具を指や手のひらにつけて、描いたり、塗ったりすることができる。（1段階Aア(イ)） （思判表力）材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に模様を表すことができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）教師と一緒に絵の具を使った制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。（1段階）	（知及技）絵の具を使った制作活動を通して、色の違いや絵の具の感触に気付いている。 教師と一緒に絵の具を指や手のひらにつけて、描いたり、塗ったりしている。 （思判表力）材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に模様に表している。 （主学）教師と一緒に絵の具を使った制作活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～液体粘土と軍手をを使って～ 色々な形	・液体粘土を作る。 液体粘土を使って軍手などの柔らかい素材を固め、思い思いの形を作る。 作品を紹介し合う。	算「かさはかるう」
7月	6	（知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） （思判表力）身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師と一緒に作品を見たりすることができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。（1段階）	（知・技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 （思・判・表）身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師と一緒に作品を見たりする。 （主学）形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～牛乳パックを使って～ 和紙作り（和紙ブロック）	・牛乳パックからパルプを作ることを楽しむ。 絵の具を混ぜ、色々な色のパルプを作る。 パルプを色々な型に入れて固め、和紙ブロックを作る。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然①」 国「説明文を読む」
9月	6	（知及技）プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） 教師と一緒に絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作ることができる。（1段階Aア(イ)） （思判表力）様々な素材などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒にプレゼント作りに表すことができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）教師と一緒にプレゼント作りに取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。（1段階）	（知・技）プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付いている。 教師と一緒に絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作っている。 （思・判・表）様々な素材などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒にプレゼント作りに表している。 （主学）教師と一緒にプレゼント作りに取り組もうとしている。	・描いてみよう ～絵を見て感じたことを描こう～ 感想画	・物語を聞いたり読んだりして感想画に表したい本や描きたい場面を選ぶ。 物語を聞いたり読んだり、挿絵を見たりして思い浮かべたことや感じたことから表したいことを見つけ、使いたい画材を選んで絵に表す。 作品を紹介し合う。	国「図書室に行ってみよう」「昔話」

2 学 期	10月	6	（知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。（1段階共通事項ア(7)）クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、教師と一緒に自分なりの表現方法で描くことができる。（1段階Aア(1)） （思判表力）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に絵に表すことができる。（1段階共通事項ア(1)、Aア(7)） （学・人）形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。（1段階）	（知・技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、教師と一緒に自分なりの表現方法で描いている。 （思・判・表）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に絵に表している。 （主学）形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組もうとしている。	・描いてみよう ～ちぎり絵～ 花火、海など	・色々な材質の紙を様々な方法で破くことを試し、破いてできる形の面白さを感じ取る。破いた紙の形や色、質感に着目しながら、色々な組み合わせを試して模様や絵に表す。作品を紹介し合う。	生「生命・自然②」算「形をつくろう」
	11月	8	（知及技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付くことができる。（1段階共通事項ア(7)）身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒にお面や動物などの作品を作ることができる。（1段階共通Aア(1)） （思判表力）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。（1段階共通事項ア(1)、Aア(7)） （学・人）つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。（1段階）	（知・技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒にお面や動物などの作品を作っている。 （思・判・表）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 （主学）材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～色々な紙（段ボール、画用紙等）を使って～ 紙版画 ・見てみよう（鑑賞）	・色々な材質の紙を切ったり組み合わせたりして思い付いたことを表す。紙版画を刷る。作品を紹介し合う。 ・2学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「生命・自然③」道「自然とふれ合う」
	12月	6	（知及技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付くことができる。（1段階共通事項ア(7)）身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作ることができる。（1段階共通Aア(1)） （思判表力）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。（1段階共通事項ア(1)、Aア(7)） （学・人）つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。（1段階）	（知・技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作っている。 （思・判・表）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 （主学）材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう 窓アート ・見てみよう（鑑賞） ～作品を見て感じたことを話し合う～ 身近な美術作品	・ハサミの安全で適切な使い方を確かめながら、セロハンを切ることを楽しむ。 カラーセロハンの切り方を工夫して、色々な形をつくる。 カラーセロハンを使って、窓ガラスに色々な模様を表現する。 作品を鑑賞する。 ・1学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	国「お話をしてみよう」「話し合いをしよう」 道「友達の気持ちになつて」「よさを伸ばす」

3 学 期	1月	6	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくっている。 (思・判・表) 身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組みようとしている。	・作ってみよう ～紙粘土を使って～ ペン立て	・紙粘土に触れ、どのような形ができそうか思い付いたことを試す。 紙粘土やその他の材料から表したいことを考え、ペン立てを作ったりペン立てを飾り付けたりする。 作品を紹介し合う。	生「ものの仕組みと働き②」
	2月	6	(知及技) 土や砂を使った活動を通して、形や色などに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 土や砂を使って、教師と一緒に丸めたり、穴を掘ったりして形や作品を作ることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 教師と一緒に土や砂を使った活動を通して、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) 土や砂を使った活動を通して、形や色などに気付いている。 教師と一緒に土や砂を丸めたり穴掘ったりして形を工夫している。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 教師と一緒に土や砂の感触を楽しもうとしている。	・作ってみよう ～箱を使って～ 並べたり、積んだりして車や電車などを作る。 ・見てみよう(鑑賞)	・使ってみたい箱を自由に選び、思い思いに並べたり積んだりする。 箱の形や大きさ、色等を生かして、並べたり積んだりつなげたり、友達と協力して車や電車等を作る。 作品を使って、乗り物ごっこ等で遊ぶ。 ・3学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「ものの仕組みと働き②」 算「位置を表す言葉」 「くらべてみよう」
	3月	6	(知及技) 絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 教師と一緒に、絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 自然物などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に色水に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 作った色水を筆や霧吹き等を使って、教師と一緒に	(知・技) 絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付いている。 教師と一緒に、絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくっている。 (思・判・表) 教師と一緒に花や木の実等で作った色水で描く工夫をしている。 (主学) 教師と一緒に水鉄砲やじょうろ等で描く活動を楽しもうとしている。	・作ってみよう ～作品集作り～	・作品を見ながら一年間の活動を振り返る。 表したいことに応じて材料や用具を選び、今までの経験や学習した技法を生かして作品集を作る。 作品集を紹介し合う。	特「1年間を振り返ろう」
	留意点 引き継ぎ等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	5名		ワークシート

年間目標		道徳的諸価値の理解を基に、人間としてのよりよい生き方について考えながら他者とともによりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。				
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手	・知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの大切さについて、自分との関わりで考えること。 ・礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場合に応じて実践しようとするについて自分との関わりで考えること。	生活 「人との関わり いろいろな人に気持ちを伝えよう」 国語 「かんげいかい」 特別活動 「学年・学級開き」 「頑張ろう会」
	5月	3	・家族の愛情や家族の一員としての役割について考え、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもち、伝えることの大切さについて考え、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする。	【B 感謝】 ・家族への感謝 【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族のために	・家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて考えること。 ・お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについて考えること。 ・日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいか、また、家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについて考えること。	生活 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 国語 「くわしくはなそう」
	6月	4	・みんなの行動について考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいかについて考えること。	生活 「人との関わり いろいろな人に気持ちを伝えよう」 国語 「役割をもって伝えよう」
	7月	2	・規則正しい生活や周りの人に対する態度について、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。また、物の大切さについて気づき、わがままをせず、節度のある生活を送ろうとする。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す	・わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えること。 ・物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にすることについて、自分との関わりで考えること。	生活 「基本的生活習慣①自分からやってみよう②予定を考えた毎日の生活」 国語 「おじいさんとねずみのはなし」 「お店の人に聞いてみよう」 ・かいもの 特別活動 「頑張った会」 「1年間を振り返る」

2 学 期	9月	3	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになって 【ここからわーく】 ・心地よい関わり（人との距離感を含む） 例：サイコロやルーレットゲームで同意の取り方、断り方を学ぼう ・ふわふわことば、ちくちくことば	・友達との関わりの中で、自分の特徴やよさ確かめ、伸ばそうとすることについて自分との関わりで考えること。	生活 「人との関わり ①いろいろな人に気持ちを伝えよう」 国語 「はなしあいしよう」 「演じてみよう」 ・さんびきのこぶた」 特別活動 「頑張ろう会」
	10月	4	・言葉の大切さを理解し考え、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・相手に言われて嬉しい言葉のよさに気づき、言葉の大切さについて自分との関わりで考えること。	生活 「人との関わり ①いろいろな人に気持ちを伝えよう」 国語 「はなしあいしよう」
	11月	4	・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて考えること。 ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようとするについて考えること。	生活 「役割 ①自分の役割に取り組もう」 国語 「はなしあいしよう」
	12月	3	・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。また、体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき考え、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、自分との関わりで考えること。 ・みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えること。	生活 「きまり ①マナーを守って行動しよう」 国語 「お店の人に聞いてみよう」 ・かいもの」 特別活動 「頑張った会」
3 学 期	1月	3	・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするについて考えること。	生活 「基本的生活習慣 ①自分からやってみよう」 国語 「説明文を読もう」 ・のりもの、花」 特別活動 「頑張ろう会」
	2月	4	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることについて考え、生命を大切に生活しようとする。 ・身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとするとともに、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然と触れあおうとする。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 【D 自然愛護】 ・自然とふれ合う	・自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて考えること。 ・自然や動植物に親しむことの大切さや、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについて考えること。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 国語 「うさぎとかめ」 特別活動 「13祝い」
	3月	2	・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみを持とうとする。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・国や郷土の文化や生活について、考えることができる。 ・国や郷土の文化や生活のよさについて、考えることができる。 ・国旗に込められた意味とその大切さについて、考えること。 ・国旗や国歌の大切さについて、考えること。	生活 「社会の仕組みと公共施設 ②地域について調べよう」 国語 「ひらがなをかいてみよう」 「プレーメンの町のおはなし」

留意点 引き継ぎ等	
評価方法	・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・行動観察

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70時間	5名		ワークシート

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとする。(Ⅰ段階Aウ)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きをしている。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとしている。	体づくり運動遊び① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミック リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	6	(知及技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 動物の動きを自分なりに作って表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとする。(Ⅰ段階Gア)	(知・技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをしている。 (思・判・表) 動物の動きを自分なりに作って表現している。 (主学) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ 保健 ・うがい、手洗い(年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる 上体起こし 反復横とび 他 ・感想発表 ・うがい、手洗い	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	6月	8	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(Ⅰ段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び① ・リレーをしよう	・集合 ・準備体操 ・かけっこ スタート、ゴールを確認する。 教師と一緒に走る。 1人で走る。 友達と一緒に走る。 バトンパスをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	7月	6	（知及技）教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。（Ⅰ段階Cア） （思判表力）走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（Ⅰ段階Cイ） （学・人）簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。（Ⅰ段階Cウ）	（知・技）教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 （思・判・表）走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 （主学）簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び② ・ジャンプをしよう 保健 男の子と女の子 トイレの違い ※ここからワーク	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 200cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	9月	6	（知及技）教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。（Ⅰ段階Dア） （思判表力）水中での感覚や心地よさを表現することができる。（Ⅰ段階Dイ） （学・人）簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。（Ⅰ段階Dウ）	（知・技）教師と一緒に、楽しく体を動している。 （思・判・表）水中での感覚や心地よさを表現している。 （主学）簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び① ・水と友達になろう 保健 プライベートゾーン 大事、大事どこだ ※ここからワーク	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	10月	6	（知及技）教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。（Ⅰ段階Dア） （思判表力）水中での感覚や心地よさを表現することができる。（Ⅰ段階Dイ） （学・人）簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。（Ⅰ段階Dウ）	（知・技）教師と一緒に、楽しく体を動している。 （思・判・表）水中での感覚や心地よさを表現している。 （主学）簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・ボビング ・伏し浮き ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	6	（知及技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。（Ⅰ段階Eア） （思判表力）ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（Ⅰ段階Eイ） （学・人）簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。（Ⅰ段階Eウ）	（知・技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 （思・判・表）ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 （主学）簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び① ・ドッジボールをしよう	・集合 ・準備体操 ・ドッジボール 投げる、逃げる。 勝敗を決める。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

	12月	8	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び② ・サッカーをしよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って的に当てる。 ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・サッカーをする。 ・勝敗を決める。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	1月	6	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び① ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱をまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ iv 肋木昇降 v 鉄棒ぶら下がり ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
3 学 期	2月	6	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び② ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 iv 平均台上を歩く v トランポリン vi 跳び箱を跳ぶ ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	6	(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(1段階Fア) (思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Fイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。(1段階Fウ)	(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。	表現遊び① ・ダンスをしよう	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引き継ぎ等			修学旅行・運動会・愛汗祭(学習発表会)等の行事や児童の実態によって他の題材を扱うことができる。				

評価方法	・ 三観点の確認 ・ 授業に対する取組姿勢 ・ 課題の処理意欲、態度 ・ 理解度、習得度 ・ 行動観察
------	---

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	5名		Let's Try! 1.2

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) いろいろな場面に 応じた挨拶の表現に慣れ親しむ。【(1)(ア)】 (思判表力) 表情やジェスチャー等を交えて挨拶を し合う。【(3)①ア(ア)】 (学・人) 会話の中での 様々な挨拶に慣れる。	(知・技) 英語の挨拶表現 を活用しようとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて表現 している。 (主学) ジェスチャーや表 情等で挨拶しようとしてい る。	挨拶をして友だちにな ろう Hello, Hi, Goodbye, See you, Let's start English class. That's all for today. ごきげんいかが? How are you? I'm~ fine, good, hungry, tired	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語の挨拶をして、 名刺をわたそう ・友達とごきげんいか が?を聞きあおう ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝 えよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
	5月	3	(知及技) 自分の事を伝え る英語の表現に慣れ親し む。【(2)ア】 (思判表力) 表情やジェス チャー等を交えて自己紹介 をする。【(3)②ア(1)】 (学・人) 表情やジェス チャー等を交えて自分の名 前や年齢を英語で伝えよう とする。	(知・技) 自分の事を伝え る表現に慣れ親しむことが できる。 (思・判・表) 表情やジェス チャー等を交えて相手に 伝わるように表現してい る。 (主学) 表情やジェス チャー等を交えて自分の名 前や年齢を英語で伝えよう としている。	自己紹介をしよう What is your name? My name is Taro. I'm~ (名前) I'm~ (年齢) one, two, three, four, f ive, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twel ve, thirteen, Nice to meet you.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹 介をしよう ・ボールバスゲーム 音楽が止まって、ボー ルを持っている人が自 己紹介をする。 ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝 えよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
	6月	4	(知及技) 曜日の英語での 言い方や、曜日を尋ねたり 答えたりする表現に慣れ親 しむ。【(2)ア】 (思判表力) 自分の好きな 曜日を身振りを交えて伝え ることができる。【(3)②ア (ア)】 (学・人) 表情やジェス チャー等を交えて曜日を英 語で伝えようとする。	(知・技) 英語で曜日を話 したり、答えたりしてい る。 (思・判・表) 自分の好き な曜日を伝える際、身振り を交える等表現している。 (主学) 表情やジェス チャー等を交えて曜日を英 語で伝えようとしている。	今日は何曜日? Monday, Tuesday, Wedne sday, Thursday, Friday , Saturday, Sunday What day is today? I like Friday. Days of the week	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ボールバスゲーム 音楽が止まって、ボー ルを持っている人が好 きな曜日を伝える。 ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「長音促音を読ん でみよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」

2 学 期	7月	2	（知及技）外来語とそれが由来する英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）身の回りの物について、身振りを交えて答える。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性をに触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	（知・技）外来語とそれが由来する英語の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身の回りの物について、身振りを交えて表現しようとしている。 （主学）大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	これなあに？ （身の回りの物） (Apple, Strawberry, Cherry, Grape, Peach, Watermelon, Lemon, Melon, Pineapple, Banana) What is this? That is a banana.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What's this? Song」 Grit for Kids ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ・3ヒントゲーム ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	9月	3	（知及技）色や食べ物の英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）色や食べ物について、何が好きか身振りを交えて答える。【(3)②ア(1)】 （学・人）自分の好みを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとする。	（知・技）色や食べ物の英語の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）色や食べ物について、何が好きか身振りを交えて表現しようとしている。 （主学）自分の好みを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ （色、食べ物） red, blue, green, black, white, pink, yellow, orange What color do you like? I like ~ icecream, rice, fish, spaghetti What food do you like? I like ~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」 ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 ・よく聞いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」「説明文を読もう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	10月	4	（知及技）いろいろな遊びの英語の表現に慣れ親しむ。【(1)イ(7)】 （思判表力）遊びについて、何が好きかどうかを身振りを交えて答える。【(3)②ア(7)】 （学・人）自分の好きな遊びを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとする。	（知・技）日本語と英語の音声の違いに慣れ親しむことができる。 （思・判・表）遊びについて、何が好きかどうかを身振りを交えて答える等工夫している。 （主学）自分の好きな遊びを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） soccer, baseball, running, swimming What play do you like? I like soccer. ハロウィンを楽しもう ghost, witch, spider	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「話し合いをしよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	11月	4	（知及技）動きの言葉の英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）絵をみて、相手に伝わるよう身振りを交えて答える。【(3)②ア(7)】 （学・人）表情やジェスチャー等を交えて動きの言葉を英語で伝えようとする。	（知・技）動きの言葉の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）絵をみて、相手に伝わるように身振りを交える等工夫している。 （主学）表情やジェスチャー等を交えて動きの言葉を英語で伝えようとしている。	動いてみよう （速く、ゆっくり） walk, jump, stop, sit, run, fast, slowly, go clap, stomp, shake, jump, touch	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて、動く。 ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「演じてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」

	12月	3	〔知及技〕外国の文化を知り、慣れ親しむ。【(1)イ(1)】 〔思判表力〕なじみのある言葉で伝えたり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性に触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	〔知・技〕外国の文化を知り、慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕なじみのある言葉で伝えたり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりして表現している。 〔主学〕大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	クリスマスだよ merry christmas, cake,candle, Santaclaus,present,D ecember,reindeer	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer」 Goodbye Snowman」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（クリスマスに関する） ・英語でフルーツバスケット（クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「図書室に行ってみよう」 音「季節の歌を歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	1月	3	〔知及技〕アルファベットに慣れ親しむ。【(2)ア】 〔思判表力〕相手に伝わるよう身振りを交えて自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕身の回りのアルファベットの文字を体で表現しようとする。	〔知・技〕身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くことができる。 〔思・判・表〕相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を表現している。 〔主学〕身の回りのアルファベットの文字を体で表現しようとしている。	アルファベットと なかよし (ABCD)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかいたアルファベットカードでかいたをする。 ・よく聞いて身体表現しよう (T, O, I, L, M, S, V, X, H) など ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「標識を読んでみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
3学期	2月	4	〔知及技〕家族を表す英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕身近な人について、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(1)】 〔学・人〕家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとしたりする。	〔知・技〕家族を表す英語の表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕身近な人について、注目して見聞きしようとしている。 〔主学〕家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとしたりしている。	この人はだれ？ (家族の紹介) mother,father,brother,sister Who is this? This is my mother. Who are you? I'm~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム よく聞いて、絵カードを指さすゲーム(1人～複数人) ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「文を書こう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	3月	2	〔知及技〕日課を表す表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 〔思判表力〕身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(7)】 〔学・人〕外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性に触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	〔知・技〕日課を表す表現に慣れ親しむことができる。 〔思・判・表〕身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとしている。 〔主学〕大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	私の1日を紹介しよう wake up,eat,go, study,sleep,wash I wake up. I go to school. I take a bath.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ③フォニックス ④ダンス 1年間のダンスの中から選択	生「人との関わり」 国「推敲して発表しよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
留意点 引継等			※「ほしいものは何かな?」Let's Try!2 (Unit7) ※児童の実態に応じて、単元の入替えをしたり、扱う題材(動物、野菜)を追加・変更することがある。				
評価方法			・三観点の確認 ・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・プリント ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35時間	5名		

年間目標	(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようにする。
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。
	(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。

日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及び技) 学年・学級の友達や教師について知り、仲良くしようとすることができる。 (思判表力) 友達や教師と仲良くしようとする気持ちを表現できる。 (学人) 友達や教師と仲良くしようとする。	(知・技) 学年・学級の友達や教師について知ることができる。 (思・判・表) 友達や教師と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) 友達や教師と仲良くしようとしている。	①学年・学級開き ・学年・学級紹介、自己紹介(Ⅰ) 【ここからわーく】 ・大きくなる体 (身長体重測定)	①学年・学級紹介、自己紹介 ・個人・学級の目標決める。 ・係・当番を決める。	○国 A・聞く・話す「役割をもって伝えよう」 ○生 オ・人との関わり「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
	5月	3	(知及び技) 自分たちのことについて知ることができる。 (思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (学人) 他学年の友達と仲良くしようとしている。	(知・技) 自分たちのことについて知っている。 (思・判・表) 他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) 他学年の友達と仲良くしようとしている。	①学年紹介(Ⅰ) ・児童集会を見よう。	①児童集会に向けて学年の紹介を見る。	○国 A・聞く・話す「役割をもって伝えよう」 ○音 A・表現「音楽に合わせて踊ろう」 ○生 オ・人との関わり「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
	6月	4	(知及び技) 話し合いを行い、計画を立て実施することができる。 (知及び技) 不審者に会ったときの対応について知ることができる。 (思判表力) お楽しみ会の内容を選ぶことができる。 ・教師と一緒に不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選ぶことができる。 (学人) お楽しみ会を実施できる。 ・実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりすることができる。	(知・技) 話し合いをすることができる。 ・不審者に会ったときの対応について知ることができる。 (思・判・表) お楽しみ会の内容を選んでいる。 ・教師と一緒に不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選んでいる。 (主学) お楽しみ会を実施しようとしている。 ・実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりしようとしている。	①お楽しみ会を計画しよう(Ⅰ) ・遊び大会やクッキング ②不審者対応避難訓練(Ⅰ) ・事後学習	①話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ②動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求める練習をしたりして、不審者へに会った時の対応の仕方を知る。	○国 A・聞く・話す「リズムに親しもう」 ○生 イ・安全「安全について考えてみよう」 キ・手伝い・仕事「自分から進んで係活動をしよう」

	7月	3	(思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (学・人) 自分の頑張ったことを振り返ることができる。 (思判表力) 夏休みの過ごし方について、できるだけ自分で考えることができる。	(知・技) ・児童集会のビデオを作ったり、見たりしている。 ・自分の頑張ったことを振り返ることができる。 (思・判・表) ・学年の事を知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現している。 ・夏休みの過ごし方について考えている。 (主学) ・他学年の友達と仲良くしようとしている。 ・夏休みにやりたいことを発表しようとしている。	①学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ②学期頑張った会(1) ・個人目標振り返り ・夏休みの過ごし方について	①児童集会に向けて学年の紹介ビデオを作る。見る。 ②個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・夏休みの過ごし方についての話を聞く。やりたいことの発表。	○国 A・聞く・話す 「お店の人に聞いてみよう」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ア・基本的な生活習慣 「自分からやってみよう」
	9月	3	(知及技) 2学期の学習内容についての話を聞き、できるだけ自分で考え、見通しを持つことができる。 (思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (思判表力) 自分なりにめあてを持ち、期待感を持って取り組む。	(知・技) ・2学期の学習や行事について知ることができている。 (思・判・表) ・2学期に頑張りたいことを選んでいる。	①2学期頑張ろう会(1) ・2学期の学習、行事について知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会を見よう。	①2学期頑張ろう会で2学期の行事や学習についての話を聞く。 ②児童集会に向けて学年の紹介を見る。	○国 A・聞く・話す ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」
	10月	3	(思判表力) 情報化社会における自分の責任や義務について考え、ネットやスマホを安全で便利に使うことができる。	(知・技) ・ネットやスマホとの付き合い方について知ることができる。 (思・判・表) ・ネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えている。	①ネットやスマホの付き合い方(1) ・スマホの使い方について知ろう。	①新聞等を活用し、身近に潜むネットやスマホの危険性や身体への影響について知る。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」
2学期	11月	3	(思判表力) 教師と一緒に自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (知及技) 教師と一緒に地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。	(知・技) ・地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 (思・判・表) ・机の下に隠れる練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を表現したりする。	①学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ②地震津波避難訓練(1) ・事後学習	①児童集会に向けて学年の紹介を見る。 ②安全に便利に使うためには、どのような方法が良いか話し合う。 ・机の下に隠れる練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数と計算 「くらべてみよう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」

	12月	4	(知及技) ・2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 ・お楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 (思判表力) 教師と一緒に自分で頑張ったことを振り返り発表することができる。 (思判表力) 話し合いを行い、計画を立て実施することができる。	(知・技) ・2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 ・お楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 (思・判・表) ・身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表している。 ・お楽しみ会の内容を選んでいる。	①2学期頑張った会(1) ・個人目標振り返り ②お楽しみ会を計画しよう(1) ・遊び大会やクッキング	①個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。2学期頑張った会で発表する。 ②話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」 「話し合いをしよう」 B・書く ○音 A・表現 「音楽に合わせて身体を動かそう」 キ・手伝い・仕事 「・自分から進んで係活動しよう」 ア・基本的生活習慣 「・自分からやってみよう」
	1月	3	(知及技) 2学期の学習内容についての話を聞き、できるだけ自分で考え、見通しを持つことができる。 (思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。 (知及技) 児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を持つ。 (思判表力) 児童会役員として、頑張っている人への応援することができる。 (知及技) 火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。	(知・技) ・児童会役員の心得などについて知ることができる。 ・火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 (思・判・表) ・児童会役員として、頑張っている人を選んでいる。 ・煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現したりする。	①3学期頑張ろう会(1) ・3学期の学習、行事について知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会を見よう。 ③児童会選挙(1) ・事前 ④火災避難訓練(1) ・事後学習	①3学期頑張ろう会で3学期の行事や学習についての話を聞く。 ②児童集会に向けて学年の紹介を見る。 ③児童会役員選挙について ・学年選挙 ④煙を吸わないように避難する練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。 ⑤家族に感謝の言葉を伝える。 ・頑張りたいことを発表する。振り返り。	○国 A・聞く・話す 「昔話」 ○生 イ・安全 「・安全について考えてみよう」 ウ・日課・予定 「・予定を考えた毎日の生活」
3学期	2月	3	(思判表力) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持つことができる。	(思・判・表) 自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを持っている。	①学年紹介(3) ・児童集会を見よう。 ②「児童会役員引き継ぎ式・任命式」	①児童集会に向けて学年の紹介ビデオを見る。 ②「児童会役員引き継ぎ式・任命式」に参加する。	○国 A・聞く・話す 「げきをしよう」 B・書く オ・人との関わり 「・いろいろな人に気持ちを伝えよう」
	3月	3	(知及技) めあてを持ち、取り組むことができる。 (思判表力) 感謝の気持ちを持って会に参加することができる。 (思判表力) 自分が頑張ったことを振り返り、発表することができる。 (思判表力) 話し合いを行い、計画を立て実施することができる。	(知・技) ・会の内容や係分担について知ることができる。 (思・判・表) ・今まで関わってきた先生達に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現することができる。	①6年生を送る会(2) ・事前・司会や役割分担 ・会に参加する ②1年間を振り返ろう(1) ・1年間の振り返り ・個人目標振り返り ③お楽しみ会を計画しよう(1) ・遊び大会やクッキング	①送る会の内容や係分担について話し合い、めあてを持って活動する。 ・今まで関わってきた先生達に感謝の気持ちを伝える。 ②個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。 ・5年生頑張った会に参加し1年間で頑張ったことを発表する。 ③話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。	○国 A・聞く・話す 「げきをしよう」 B・書く ○生 ウ・日課・予定 「・予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「・自分から進んで係活動しよう」 カ・役割 「・自分の役割に取り組もう」 ア・基本的生活習慣 「・自分からやってみよう」
留意点 引き継ぎ等							
評価方法			・三観点の確認	・授業に対する取組姿勢	・課題の処理意欲、態度	・理解度、習得度	・行動観察